

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

【別表-1】						
種 別	種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考
土工	掘削工	掘削	土質 施工方法 押土の有無 障害の有無 施工数量	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工		掘削(砂防)	土質 施工数量 障害の有無 火薬使用	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工		河床等掘削		m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		掘削(光ケーブル配管)	土質 施工方法 押土の有無 障害の有無 施工数量	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		整地	作業区分	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		押土(ルーズ)	土質	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		積込(ルーズ)	土質 作業内容	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		積込(ルーズ)砂防	土質 作業内容	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		土砂等運搬	土質	m <sup>3</sup>	10	
土工		土砂等運搬(砂防)	土質	m <sup>3</sup>	10	
土工	掘削工(ICT)	掘削(ICT)	土質 施工方法 障害の有無 施工数量	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工	(路体・路床)盛土工	路体(盛土)盛土	施工幅員	m <sup>2</sup>	100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工		路床盛土	施工幅員	m <sup>2</sup>	100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工		整地	作業区分	m <sup>2</sup>	100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工		押土(ルーズ)	土質	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		積込(ルーズ)	土質 作業内容	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		積込(ルーズ)砂防	土質 作業内容	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		土砂等運搬	土質	m <sup>3</sup>	10	
土工		土砂等運搬(砂防)	土質	m <sup>3</sup>	10	
土工		土材料		m <sup>2</sup>	100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>

【別表-1】						
種 別	種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考
土工	掘削工	掘削	土質 施工方法 押土の有無 障害の有無 施工数量	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工		掘削(砂防)	土質 施工数量 障害の有無 火薬使用	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工		河床等掘削		m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		掘削(光ケーブル配管)	土質 施工方法 押土の有無 障害の有無 施工数量	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		整地	作業区分	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		押土(ルーズ)	土質	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		積込(ルーズ)	土質 作業内容	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		積込(ルーズ)砂防	土質 作業内容	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		土砂等運搬	土質	m <sup>3</sup>	10	
土工		土砂等運搬(砂防)	土質	m <sup>3</sup>	10	
土工	掘削工(ICT)	掘削(ICT)	土質 施工方法 障害の有無 施工数量	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工		掘削(砂防)(ICT)	土質 施工数量 障害の有無 施工数量	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工	(路体・路床)盛土工	路体(盛土)盛土	施工幅員	m <sup>2</sup>	100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工		路床盛土	施工幅員	m <sup>2</sup>	100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工		整地	作業区分	m <sup>2</sup>	100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工		押土(ルーズ)	土質	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		積込(ルーズ)	土質 作業内容	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		積込(ルーズ)砂防	土質 作業内容	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
土工		土砂等運搬	土質	m <sup>3</sup>	10	
土工		土砂等運搬(砂防)	土質	m <sup>3</sup>	10	

記載の追加

→ 次項へ移動

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考
土工	(路体・路床)盛土工(ICT)	路体(築床)盛土(ICT)	施工幅員	m <sup>2</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工	路体盛土(ICT)	路体盛土(ICT)	施工幅員	m <sup>2</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工	法面整形工	法面整形	現場制約の有無 (盛土部)法面締固めの有無 (切土部)土質	m <sup>2</sup> 10	
土工	法面整形工(ICT)	法面整形(ICT)	(盛土部)法面締固めの有無 (切土部)土質	m <sup>2</sup> 10	
土工	盛土補強工	安定シート・ネット	シート種類	m <sup>2</sup> 1	
土工		ジオテキスタイル補強土壁	壁面材の種類	m <sup>2</sup> 1	
土工	残土処理工	整地	作業区分	m <sup>2</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工		土砂等運搬	土質	m <sup>3</sup> 10	
土工		残土処分	土質	m <sup>3</sup> 10	
土工	作業土工	床埋	土質	m <sup>3</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工		埋戻し	土質区分	m <sup>3</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup> 、岩類は10m <sup>3</sup>
土工	作業土工(ICT)	床埋り(ICT)	土質	m <sup>3</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工	堤防天端工	天端敷砂利	砕石規格 敷厚	m <sup>2</sup> 10	
共通の工種	矢板工	鋼矢板	鋼矢板型式 鋼矢板平均長さ 鋼矢板打込長 [鋼矢板平均引抜長]	枚 1	
共通の工種		可とう鋼矢板	可とう種別 鋼矢板型式 鋼矢板長さ	枚 1	
共通の工種		軽量鋼矢板	軽量鋼矢板型式 軽量鋼矢板平均長さ 矢板埋入長	枚 1	
共通の工種		広幅鋼矢板	広幅鋼矢板 型式 広幅鋼矢板平均長さ 鋼矢板打込長 [鋼矢板平均引抜長]	枚 1	
共通の工種		タイロッド	タイロッド材質 タイロッド径	組 1	
共通の工種		腹起し	溝形鋼規格	t 0.1	
共通の工種		控え版	コンクリート規格 幅 高さ	m 1	
共通の工種		中詰砂	砂規格	m <sup>3</sup> 10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>3</sup>

種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考
土工	(路体・路床)盛土工(ICT)	路体(築床)盛土(ICT)	施工幅員	m <sup>2</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工	路体盛土(ICT)	路体盛土(ICT)	施工幅員	m <sup>2</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工	法面整形工	法面整形	現場制約の有無 (盛土部)法面締固めの有無 (切土部)土質	m <sup>2</sup> 10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工	法面整形工(ICT)	法面整形(ICT)	(盛土部)法面締固めの有無 (切土部)土質	m <sup>2</sup> 10	
土工	盛土補強工	安定シート・ネット	シート種類	m <sup>2</sup> 1	
土工		ジオテキスタイル補強土壁	壁面材の種類	m <sup>2</sup> 1	
土工	残土処理工	整地	作業区分	m <sup>2</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>2</sup>
土工		土砂等運搬	土質	m <sup>3</sup> 10	
土工		残土処分	土質	m <sup>3</sup> 10	
土工	作業土工	床埋り	土質	m <sup>3</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工		埋戻し	土質区分	m <sup>3</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup> 、岩類は10m <sup>3</sup>
土工	作業土工(ICT)	床埋り(ICT)	土質	m <sup>3</sup> 100	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満及び岩の場合は10m <sup>3</sup>
土工	堤防天端工	天端敷砂利	砕石規格 敷厚	m <sup>2</sup> 10	
共通の工種	矢板工	鋼矢板	鋼矢板型式 鋼矢板平均長さ 鋼矢板打込長 [鋼矢板平均引抜長]	枚 1	
共通の工種		可とう鋼矢板	可とう種別 鋼矢板型式 鋼矢板長さ	枚 1	
共通の工種		軽量鋼矢板	軽量鋼矢板型式 軽量鋼矢板平均長さ 矢板埋入長	枚 1	
共通の工種		広幅鋼矢板	広幅鋼矢板 型式 広幅鋼矢板平均長さ 鋼矢板打込長 [鋼矢板平均引抜長]	枚 1	
共通の工種		タイロッド	タイロッド材質 タイロッド径	組 1	
共通の工種		腹起し	溝形鋼規格	t 0.1	
共通の工種		控え版	コンクリート規格 幅 高さ	m 1	
共通の工種		中詰砂	砂規格	m <sup>3</sup> 10	ただし100m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>3</sup>

記載の変更

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考
基礎工	掘削土処理	土質	m <sup>3</sup>	10	
基礎工	場所打杭工	場所打杭 杭径 杭長(設計長)	本	1	ただし1本当りの場合は0.1m
基礎工	掘削土処理	土質	m <sup>3</sup>	10	
基礎工	合成杭工	合成杭 杭種別 杭径 杭長	本	1	ただし1本当りの場合は0.1m
基礎工	掘削土処理	土質	m <sup>3</sup>	10	
基礎工	ニューマチックケーソン基礎工	ニューマチックケーソン設備	式	1	
基礎工	刃口金物据付		基	1	
基礎工	沈下掘削		m <sup>3</sup>	10	
基礎工	沈下促進	水荷重形式 載荷材料形式(コンクリートブロック)	t	0.1	
<del>基礎工</del>	<del>底スラブコンクリート</del>	<del>コンクリート規格</del>	<del>m<sup>3</sup></del>	<del>1</del>	
基礎工	中埋コンクリート	コンクリート規格	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	ブローパイプバルブ調整		基	1	
基礎工	中詰充填	中詰材規格	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
基礎工	砂セメント	材料規格	m <sup>3</sup>	10	ただし100m <sup>3</sup> 未満の場合は1m <sup>3</sup>
<del>基礎工</del>	<del>天盤コンクリート用型枠・支保</del>		<del>m<sup>2</sup></del>	<del>10</del>	
基礎工	止水壁取壊し	施工方法	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	深礎工・シャフト工	巻立コンクリート	m <sup>2</sup>	1	
基礎工	掘削土留	杭径 杭長	本	1	
基礎工	グラウト注入	注入材規格 圧縮強度	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	鋼管井筒基礎工	鋼管矢板 鋼管材質 鋼管径 鋼管長さ 打込工法	本	1	
基礎工	井筒内掘削		m <sup>3</sup>	10	
基礎工	継手処理		本	1	
基礎工	鋼管内掘削		m <sup>3</sup>	10	
基礎工	中詰コンクリート	コンクリート規格	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	敷砂	敷砂規格	m <sup>3</sup>	10	ただし100m <sup>3</sup> 未満の場合は1m <sup>3</sup>
基礎工	底版コンクリート	コンクリート規格	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	杭切断	鋼管杭径	本	1	
基礎工	鋼管矢板支保	支保型式	t	0.1	
基礎工	間詰コンクリート	コンクリート規格	m <sup>3</sup>	1	

種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考
基礎工	掘削土処理	土質	m <sup>3</sup>	10	
基礎工	場所打杭工	場所打杭 杭径 杭長(設計長)	本	1	ただし1本当りの場合は0.1m
基礎工	掘削土処理	土質	m <sup>3</sup>	10	
基礎工	合成杭工	合成杭 杭種別 杭径 杭長	本	1	ただし1本当りの場合は0.1m
基礎工	掘削土処理	土質	m <sup>3</sup>	10	
基礎工	ニューマチックケーソン基礎工	ニューマチックケーソン設備	式	1	
基礎工	刃口金物据付		基	1	
基礎工	沈下掘削		m <sup>3</sup>	10	
基礎工	沈下促進	水荷重形式 載荷材料形式(コンクリートブロック)	t	0.1	
基礎工	ケーソン本体コンクリート	ニューマチックケーソン設備	コンクリート規格	m <sup>3</sup>	1
基礎工	底スラブコンクリート	コンクリート規格	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	中埋コンクリート	コンクリート規格	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	ブローパイプバルブ調整		基	1	
基礎工	中詰充填	中詰材規格	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
基礎工	砂セメント	材料規格	m <sup>3</sup>	10	ただし100m <sup>3</sup> 未満の場合は1m <sup>3</sup>
基礎工	天盤コンクリート用型枠・支保		m <sup>2</sup>	10	
基礎工	足場材設置・撤去		式	1	
基礎工	止水壁取壊し	施工方法	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	深礎工・シャフト工	巻立コンクリート	m <sup>2</sup>	1	
基礎工	掘削土留	杭径 杭長	本	1	
基礎工	グラウト注入	注入材規格 圧縮強度	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	鋼管井筒基礎工	鋼管矢板 鋼管材質 鋼管径 鋼管長さ 打込工法	本	1	
基礎工	井筒内掘削		m <sup>3</sup>	10	
基礎工	継手処理		本	1	
基礎工	鋼管内掘削		m <sup>3</sup>	10	
基礎工	中詰コンクリート	コンクリート規格	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	敷砂	敷砂規格	m <sup>3</sup>	10	ただし100m <sup>3</sup> 未満の場合は1m <sup>3</sup>
基礎工	底版コンクリート	コンクリート規格	m <sup>3</sup>	1	
基礎工	杭切断	鋼管杭径	本	1	

記載の追加

積算上の注意事項		(控え頁)	3/9
----------	--	-------	-----

改正理由	一部改正					改正 現行	備考							
現 行						改 正						備 考		
種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考	種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考	記載の変更		
舗装工	連続鉄筋コンクリート舗装	コンクリート規格 舗装厚	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>	舗装工	連続鉄筋コンクリート舗装	舗装厚 コンクリート規格	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>			
舗装工	縦目地	目地材種類・厚さ	m	1		舗装工	縦目地	目地材種類・厚さ	m	1				
舗装工	横目地	目地形式	m	1		舗装工	横目地	目地形式	m	1				
舗装工	目地切り・清掃		m	1		舗装工	目地切り・清掃		m	1				
舗装工	薄層カラー舗装	舗装色 規格・使用	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>	舗装工	薄層カラー舗装	舗装色 規格・使用	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>			
舗装工	舗装工(ICT)	下層路盤(車道・路肩部)(ICT)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>	舗装工	舗装工(ICT)	下層路盤(車道・路肩部)(ICT)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m <sup>2</sup>		10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		上層路盤(車道・路肩部)(ICT)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>	舗装工		上層路盤(車道・路肩部)(ICT)	路盤材種類 路盤材規格 仕上り厚	m <sup>2</sup>		10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		インターロッキングブロック舗装	ブロック規格 敷材種類 敷材厚 施工規模	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>	舗装工		インターロッキングブロック舗装	ブロック規格 敷材種類 敷材厚 施工規模	m <sup>2</sup>		10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工		特殊ブロック舗装	作業区分 ブロック規格	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>	舗装工		特殊ブロック舗装	作業区分 ブロック規格	m <sup>2</sup>		10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
舗装工	踏掛版工	踏掛版	コンクリート規格 鉄筋材料規格・径	m <sup>3</sup>	1		舗装工	踏掛版工	踏掛版	コンクリート規格 鉄筋材料規格・径	m <sup>3</sup>		1	
舗装工	区画線工	区画線	施工方法区分 規格・仕様区分 厚さ 排水性舗装用の有無	m	10	ただし100m未満の場合は1m	舗装工	区画線工	区画線	施工方法区分 規格・仕様区分 厚さ 排水性舗装用の有無	m		10	ただし100m未満の場合は1m
舗装工		区画線消去	施工方法区分	m	1		舗装工		区画線消去	施工方法区分	m		1	
地盤改良工	路床安定処理工	安定処理	混合深さ 固化材100m <sup>2</sup> あたり使用量 固化剤の種類	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>	地盤改良工	路床安定処理工	安定処理	混合深さ 固化材100m <sup>2</sup> あたり使用量 固化剤の種類	m <sup>2</sup>		10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>
地盤改良工	自走式土質改良工	土質改良	改良土質 固化材1m <sup>3</sup> あたり使用量 固化剤の種類	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>	地盤改良工	自走式土質改良工	土質改良	改良土質 固化材1m <sup>3</sup> あたり使用量 固化剤の種類	m <sup>3</sup>		100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
地盤改良工	表層安定処理	サンドマット	砂材量費の有無	m <sup>2</sup>	10		地盤改良工	表層安定処理	サンドマット	砂材量費の有無	m <sup>2</sup>		10	
地盤改良工		安定シート・ネット	シート種類	m <sup>2</sup>	10		地盤改良工		安定シート・ネット	シート種類	m <sup>2</sup>		10	
地盤改良工		表層混合処理		m <sup>2</sup>	10		地盤改良工		表層混合処理		m <sup>2</sup>		10	
地盤改良工		置換	置換材量 施工数量	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>	地盤改良工		置換	置換材量 施工数量	m <sup>3</sup>		100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
地盤改良工	置換工	置換	置換材量 施工数量	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>	地盤改良工	置換工	置換	置換材量 施工数量	m <sup>3</sup>		100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
1-1-13														
積算上の注意事項												(控え頁) 4/9		

改正理由	一部改正						改正 現行							備考
現 行							改 正							記載の変更・削除
種 別							種 別							
地盤改良工	サンドマット工	サンドマット	砂材量費の有無	単位	数値	備考	地盤改良工	サンドマット工	サンドマット	砂材量費の有無	単位	数値	備考	記載の変更・削除
地盤改良工	安定シート・ネット	安定シート・ネット	シート種類	m <sup>2</sup>	10		<del>地盤改良工</del>	<del>安定シート・ネット</del>	<del>安定シート・ネット</del>	<del>シート種類</del>	<del>m<sup>2</sup></del>	<del>10</del>		
地盤改良工	バイルネット工	既製コンクリート杭	杭種別 杭径 杭長 杭打込長(掘削長)	本	1		地盤改良工	バイルネット工	既製コンクリート杭	杭種別 杭径 杭長 杭打込長(掘削長)	本	1		
地盤改良工		木杭	杭材質 杭長 杭末口	本	1		地盤改良工		木杭	杭材質 杭長 杭末口	本	1		
地盤改良工		連結鉄筋	鉄筋材料規格・径	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t	地盤改良工		連結鉄筋	鉄筋材料規格・径	t	0.1	ただし1t未満の場合は0.01t	
地盤改良工		安定シート	シート種類	m <sup>2</sup>	10		地盤改良工		安定シート	シート種類	m <sup>2</sup>	10		
地盤改良工	パーチカルドレーン工	サンドドレーン	径 SD打設長 SD杭径 SCP径 SCP打設長 SCP杭径	本	1		地盤改良工	パーチカルドレーン工	サンドドレーン	径 SD打設長 SD杭径 SCP径 SCP打設長 SCP杭径	本	1		
地盤改良工		ペーパードレーン	材料規格 長さ(打設長)	本	1		地盤改良工		ペーパードレーン	材料規格 長さ(打設長)	本	1		
地盤改良工	締め改良工	サンドコンパクションバイル	径 SD打設長 SD杭径 SCP径 SCP打設長 SCP杭径	本	1		地盤改良工	締め改良工	サンドコンパクションバイル	径 SD打設長 SD杭径 SCP径 SCP打設長 SCP杭径	本	1		
地盤改良工	固結工	粉体噴射攪拌	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	本	1		地盤改良工	固結工	粉体噴射攪拌	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	本	1		
地盤改良工		粉体噴射攪拌(先掘・移設・軸間変更)	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	式	1		地盤改良工		粉体噴射攪拌(先掘・移設・軸間変更)	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	式	1		
地盤改良工		高圧噴射攪拌	工法 注入材種類 長さ(注入長) 長さ(土被長)	本	1		地盤改良工		高圧噴射攪拌	工法 注入材種類 長さ(注入長) 長さ(土被長)	本	1		
地盤改良工		スラリー攪拌	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	本	1		地盤改良工		スラリー攪拌	改良材種類 杭径 長さ(打設長) 長さ(杭長)	本	1		
1-1-14														
積算上の注意事項														(控え頁) 5/9

改正理由	一部改正	現 行	改 正	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		現	正																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 値</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>仮設工</td><td>鋼矢板</td><td>鋼矢板型式 平均鋼矢板長さ 鋼矢板打込長 [平均鋼矢板引抜長]</td><td>枚</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>H鋼杭</td><td>H鋼形式 H鋼長さ(杭長) H型鋼平均打込長 [H型鋼平均引抜長]</td><td>本</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>アンカー</td><td>アンカーボルト規格</td><td>本</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>タイロッド・覆起し</td><td>タイロッド材質 タイロッド径</td><td>t</td><td>0.1</td><td>数量契約の場合は0.1t</td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>切梁・覆起し</td><td></td><td>t</td><td>0.1</td><td>数量契約の場合は0.1t</td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>横矢板</td><td>横矢板材質 横矢板厚さ</td><td>m<sup>2</sup></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>水替工</td><td>ポンプ排水</td><td>日</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>水替工</td><td>水替とい</td><td>m</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>地下水低下工</td><td>ウエルポイント</td><td>日</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td></td><td>ディーブウェル</td><td>日</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>連続地中壁工</td><td>プラント設置撤去</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>汚濁防止工</td><td>汚濁防止フェンス</td><td>m</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>汚濁防止工</td><td>濁水処理設備</td><td>箇所</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>防護施設工</td><td>築碁防護柵</td><td>m<sup>2</sup></td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td></td><td>基礎ブロック(立入防止柵)</td><td>個</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td></td><td>金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)</td><td>m</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>防護施設工</td><td>仮囲い</td><td>m</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土のう工</td><td>土のう</td><td>袋</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>足場工</td><td>手摺先行型枠組足場</td><td>掛m<sup>2</sup></td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>盛替梁</td><td>箇所</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>アンカー工材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理</td><td>本</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>軽量鋼矢板(電線共同溝)</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>溝掘り</td><td>m<sup>3</sup></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>泥土処理</td><td>m<sup>3</sup></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>砂防仮締切工</td><td>土砂締切</td><td>m<sup>3</sup></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>砂防仮締切工</td><td>土砂土のう締切</td><td>m<sup>3</sup></td><td>1</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考	仮設工	鋼矢板	鋼矢板型式 平均鋼矢板長さ 鋼矢板打込長 [平均鋼矢板引抜長]	枚	1		仮設工	H鋼杭	H鋼形式 H鋼長さ(杭長) H型鋼平均打込長 [H型鋼平均引抜長]	本	1		仮設工	アンカー	アンカーボルト規格	本	1		仮設工	タイロッド・覆起し	タイロッド材質 タイロッド径	t	0.1	数量契約の場合は0.1t	仮設工	切梁・覆起し		t	0.1	数量契約の場合は0.1t	仮設工	横矢板	横矢板材質 横矢板厚さ	m <sup>2</sup>	1		仮設工	水替工	ポンプ排水	日	1		仮設工	水替工	水替とい	m	1		仮設工	地下水低下工	ウエルポイント	日	1		仮設工		ディーブウェル	日	1		仮設工	連続地中壁工	プラント設置撤去	式	1		仮設工	汚濁防止工	汚濁防止フェンス	m	1		仮設工	汚濁防止工	濁水処理設備	箇所	1		仮設工	防護施設工	築碁防護柵	m <sup>2</sup>	10		仮設工		基礎ブロック(立入防止柵)	個	1		仮設工		金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	m	1		仮設工	防護施設工	仮囲い	m	1		仮設工	土のう工	土のう	袋	1		仮設工	足場工	手摺先行型枠組足場	掛m <sup>2</sup>	10		仮設工	土留・仮締切工	盛替梁	箇所	1		仮設工	土留・仮締切工	アンカー工材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理	本	1		仮設工	土留・仮締切工	軽量鋼矢板(電線共同溝)	式	1		仮設工	土留・仮締切工	溝掘り	m <sup>3</sup>	1		仮設工	土留・仮締切工	泥土処理	m <sup>3</sup>	1		仮設工	砂防仮締切工	土砂締切	m <sup>3</sup>	1		仮設工	砂防仮締切工	土砂土のう締切	m <sup>3</sup>	1		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>細 別</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 値</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>仮設工</td><td>鋼矢板</td><td>鋼矢板型式 平均鋼矢板長さ 鋼矢板打込長 [平均鋼矢板引抜長]</td><td>枚</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>H鋼杭</td><td>H鋼形式 H鋼長さ(杭長) H型鋼平均打込長 [H型鋼平均引抜長]</td><td>本</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>アンカー</td><td>アンカーボルト規格</td><td>本</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>タイロッド・覆起し</td><td>タイロッド材質 タイロッド径</td><td>t</td><td>0.1</td><td>数量契約の場合は0.1t</td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>切梁・覆起し</td><td></td><td>t</td><td>0.1</td><td>数量契約の場合は0.1t</td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>横矢板</td><td>横矢板材質 横矢板厚さ</td><td>m<sup>2</sup></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>水替工</td><td>ポンプ排水</td><td>日</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>水替工</td><td>水替とい</td><td>m</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>地下水低下工</td><td>ウエルポイント</td><td>日</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td></td><td>ディーブウェル</td><td>日</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>汚濁防止工</td><td>汚濁防止フェンス</td><td>m</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>汚濁防止工</td><td>濁水処理設備</td><td>箇所</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>防護施設工</td><td>築碁防護柵</td><td>m<sup>2</sup></td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td></td><td>基礎ブロック(立入防止柵)</td><td>個</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td></td><td>金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)</td><td>m</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>防護施設工</td><td>仮囲い</td><td>m</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土のう工</td><td>大型土のう</td><td>袋</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>足場工</td><td>手摺先行型枠組足場</td><td>掛m<sup>2</sup></td><td>10</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>盛替梁</td><td>箇所</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>アンカー工材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理</td><td>本</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>軽量鋼矢板(電線共同溝)</td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>溝掘り</td><td>m<sup>3</sup></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>土留・仮締切工</td><td>泥土処理</td><td>m<sup>3</sup></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>砂防仮締切工</td><td>土砂締切</td><td>m<sup>3</sup></td><td>1</td><td></td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>砂防仮締切工</td><td>土砂土のう締切</td><td>m<sup>3</sup></td><td>1</td><td></td></tr> </tbody> </table>	種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考	仮設工	鋼矢板	鋼矢板型式 平均鋼矢板長さ 鋼矢板打込長 [平均鋼矢板引抜長]	枚	1		仮設工	H鋼杭	H鋼形式 H鋼長さ(杭長) H型鋼平均打込長 [H型鋼平均引抜長]	本	1		仮設工	アンカー	アンカーボルト規格	本	1		仮設工	タイロッド・覆起し	タイロッド材質 タイロッド径	t	0.1	数量契約の場合は0.1t	仮設工	切梁・覆起し		t	0.1	数量契約の場合は0.1t	仮設工	横矢板	横矢板材質 横矢板厚さ	m <sup>2</sup>	1		仮設工	水替工	ポンプ排水	日	1		仮設工	水替工	水替とい	m	1		仮設工	地下水低下工	ウエルポイント	日	1		仮設工		ディーブウェル	日	1		仮設工	汚濁防止工	汚濁防止フェンス	m	1		仮設工	汚濁防止工	濁水処理設備	箇所	1		仮設工	防護施設工	築碁防護柵	m <sup>2</sup>	10		仮設工		基礎ブロック(立入防止柵)	個	1		仮設工		金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	m	1		仮設工	防護施設工	仮囲い	m	1		仮設工	土のう工	大型土のう	袋	1		仮設工	足場工	手摺先行型枠組足場	掛m <sup>2</sup>	10		仮設工	土留・仮締切工	盛替梁	箇所	1		仮設工	土留・仮締切工	アンカー工材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理	本	1		仮設工	土留・仮締切工	軽量鋼矢板(電線共同溝)	式	1		仮設工	土留・仮締切工	溝掘り	m <sup>3</sup>	1		仮設工	土留・仮締切工	泥土処理	m <sup>3</sup>	1		仮設工	砂防仮締切工	土砂締切	m <sup>3</sup>	1		仮設工	砂防仮締切工	土砂土のう締切	m <sup>3</sup>	1		記載の変更
種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
仮設工	鋼矢板	鋼矢板型式 平均鋼矢板長さ 鋼矢板打込長 [平均鋼矢板引抜長]	枚	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	H鋼杭	H鋼形式 H鋼長さ(杭長) H型鋼平均打込長 [H型鋼平均引抜長]	本	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	アンカー	アンカーボルト規格	本	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	タイロッド・覆起し	タイロッド材質 タイロッド径	t	0.1	数量契約の場合は0.1t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
仮設工	切梁・覆起し		t	0.1	数量契約の場合は0.1t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
仮設工	横矢板	横矢板材質 横矢板厚さ	m <sup>2</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	水替工	ポンプ排水	日	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	水替工	水替とい	m	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	地下水低下工	ウエルポイント	日	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工		ディーブウェル	日	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	連続地中壁工	プラント設置撤去	式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	汚濁防止工	汚濁防止フェンス	m	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	汚濁防止工	濁水処理設備	箇所	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	防護施設工	築碁防護柵	m <sup>2</sup>	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工		基礎ブロック(立入防止柵)	個	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工		金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	m	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	防護施設工	仮囲い	m	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土のう工	土のう	袋	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	足場工	手摺先行型枠組足場	掛m <sup>2</sup>	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	盛替梁	箇所	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	アンカー工材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理	本	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	軽量鋼矢板(電線共同溝)	式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	溝掘り	m <sup>3</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	泥土処理	m <sup>3</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	砂防仮締切工	土砂締切	m <sup>3</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	砂防仮締切工	土砂土のう締切	m <sup>3</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
仮設工	鋼矢板	鋼矢板型式 平均鋼矢板長さ 鋼矢板打込長 [平均鋼矢板引抜長]	枚	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	H鋼杭	H鋼形式 H鋼長さ(杭長) H型鋼平均打込長 [H型鋼平均引抜長]	本	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	アンカー	アンカーボルト規格	本	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	タイロッド・覆起し	タイロッド材質 タイロッド径	t	0.1	数量契約の場合は0.1t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
仮設工	切梁・覆起し		t	0.1	数量契約の場合は0.1t																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
仮設工	横矢板	横矢板材質 横矢板厚さ	m <sup>2</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	水替工	ポンプ排水	日	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	水替工	水替とい	m	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	地下水低下工	ウエルポイント	日	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工		ディーブウェル	日	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	汚濁防止工	汚濁防止フェンス	m	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	汚濁防止工	濁水処理設備	箇所	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	防護施設工	築碁防護柵	m <sup>2</sup>	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工		基礎ブロック(立入防止柵)	個	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工		金網(フェンス)・支柱(立入防止柵)	m	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	防護施設工	仮囲い	m	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土のう工	大型土のう	袋	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	足場工	手摺先行型枠組足場	掛m <sup>2</sup>	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	盛替梁	箇所	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	アンカー工材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理	本	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	軽量鋼矢板(電線共同溝)	式	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	溝掘り	m <sup>3</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	土留・仮締切工	泥土処理	m <sup>3</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	砂防仮締切工	土砂締切	m <sup>3</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
仮設工	砂防仮締切工	土砂土のう締切	m <sup>3</sup>	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
積算上の注意事項		1-1-17		(控え頁) 6/9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

改正理由	一部改正	改正	
		現行	

現 行							改 正							備 考
種 別	種 別	規 格	単 位	数 値	備 考	種 別	種 別	規 格	単 位	数 値	備 考	記載の変更		
砂防	集排水ボーリング工	ボーリング	m	0.1		砂防	集排水ボーリング工	ボーリング	m	0.1				
砂防		ボーリング洗浄	m	0.1		砂防		ボーリング洗浄	m	0.1				
砂防		保孔管	m	1		砂防		保孔管	m	1				
砂防		保孔管材質・種類				砂防		保孔管材質・種類						
砂防		施工場所				砂防		施工場所						
砂防		ストレーナ加工の有無				砂防		ストレーナ加工の有無						
砂防	集水井工	ボーリング仮設掘削材	個	1		砂防	集水井工	ボーリング仮設掘削材	個	1				
砂防		集水井掘削	m	1		砂防		集水井掘削	m	1				
砂防		杭径	m	1		砂防		杭径	m	1				
砂防		土留材料				砂防		土留材料						
砂防		井戸中継	m <sup>2</sup>	1		砂防		井戸中継	m <sup>2</sup>	1				
砂防		土質				砂防		土質						
砂防		プレキャスト井筒	m	1		砂防		プレキャスト井筒	m	1				
砂防		ブロック規格				砂防		ブロック規格						
砂防		タイプ	m	1		砂防		タイプ	m	1				
砂防		固定基礎コンクリート				砂防		固定基礎コンクリート						
砂防		コンクリート規格				砂防		コンクリート規格						
砂防		底張コンクリート	m <sup>2</sup>	1		砂防		底張コンクリート	m <sup>2</sup>	1				
砂防		構造物種別				砂防		構造物種別						
砂防		コンクリート規格				砂防		コンクリート規格						
砂防	山腹水路工	井戸蓋	枚	1		砂防	山腹水路工	井戸蓋	枚	1				
砂防		山腹暗渠	m	1		砂防		山腹暗渠	m	1				
砂防		管材質				砂防		管材質						
砂防		管径				砂防		管径						
砂防		管長さ				砂防		管長さ						
砂防		現場打水路	m	1		砂防		現場打水路	m	1				
砂防		内幅				砂防		内幅						
砂防		内高				砂防		内高						
砂防		コンクリート規格				砂防		コンクリート規格						
砂防	仮護切工	中継・締切腐土撤去	m <sup>2</sup>	10		砂防	仮護切工	中継・締切腐土撤去	m <sup>2</sup>	10				
砂防	砂防ソイルセメント工	砂防ソイルセメント	m <sup>2</sup>	1		砂防	砂防ソイルセメント工	砂防ソイルセメント	m <sup>2</sup>	1				
		締切処理率						締切処理率						
		セメント100m <sup>2</sup> 当り使用量						セメント100m <sup>2</sup> 当り使用量						
海岸	海岸コンクリート(根固・消波)ブロック工	海岸コンクリート(根固・消波)ブロック	個	1		海岸	海岸コンクリート(根固・消波)ブロック工	海岸コンクリート(根固・消波)ブロック	個	1				
海岸		製作				海岸		製作						
海岸		ブロック種類(型式)				海岸		ブロック種類(型式)						
海岸		ブロック種類(実質量)				海岸		ブロック種類(実質量)						
海岸		海岸コンクリート(根固・消波)ブロック	個	1		海岸		海岸コンクリート(根固・消波)ブロック	個	1				
海岸		据付				海岸		据付						
海岸		ブロック種類(型式)				海岸		ブロック種類(型式)						
海岸		ブロック種類(実質量)				海岸		ブロック種類(実質量)						
海岸		ブロック購入の有無				海岸		ブロック購入の有無						
海岸	護岸工	裏込(砕石)	m <sup>2</sup>	1		海岸	護岸工	裏込(砕石)	m <sup>2</sup>	1				
海岸		砕石規格				海岸		砕石規格						
海岸		石材規格				海岸		石材規格						
海岸	コンクリート被覆工	コンクリート	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>	海岸	コンクリート被覆工	コンクリート	m <sup>2</sup>	10	ただし1,000m <sup>2</sup> 未満の場合は1m <sup>2</sup>			
海岸		養生費				海岸		養生費						
海岸		コンクリート夜間露置の有無				海岸		コンクリート夜間露置の有無						
海岸	捨石工	中継石	m <sup>2</sup>	1		海岸	捨石工	中継石	m <sup>2</sup>	1				
海岸		捨石	m <sup>2</sup>	1		海岸		捨石	m <sup>2</sup>	1				
海岸		石材規格				海岸		石材規格						
海岸		捨石均し	m <sup>2</sup>	10		海岸		捨石均し	m <sup>2</sup>	10				
海岸		均し区分				海岸		均し区分						
海岸		表面均し	m <sup>2</sup>	10		海岸		表面均し	m <sup>2</sup>	10				
海岸	被覆石工	被覆石据付	m <sup>2</sup>	1		海岸	被覆石工	被覆石据付	m <sup>2</sup>	1				
海岸		石材規格				海岸		石材規格						

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考
トンネル(NATM)	仮インバート	材料規格 巻厚 補強材有無・規格	m <sup>2</sup>	1	
トンネル(NATM)	ミニバイブルーフ	材料規格 径 長さ	本	1	
トンネル(NATM)	掘削補助工B	水抜きボーリング	本	1	
トンネル(NATM)		垂直織地	本	1	
トンネル(NATM)		パイブルーフ	本	1	
トンネル(NATM)		押え盛土	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
トンネル(NATM)		薬液注入	m <sup>3</sup>	10	
トンネル(NATM)	ディープウェル	径 深さ	日	1	
トンネル(NATM)		ウエルポイント	日	1	
トンネル(NATM)		トンネル板巻きコンクリート	m	1	
トンネル(NATM)		各種設備	式	1	
トンネル(矢板)	掘削工	掘削	m	0.1	
トンネル(矢板)	支保工	鋼製支保	基	1	
トンネル(矢板)	覆工・防水工	覆工コンクリート・防水	m	0.1	
トンネル(矢板)		止水板	m	1	
トンネル(矢板)		床版コンクリート	m	1	
トンネル(矢板)		裏込注入	m <sup>3</sup>	1	
トンネル(矢板)	インバート工	インバート掘削	m	0.1	
トンネル(矢板)		インバート	m	0.1	
トンネル(矢板)	坑内付帯坑	箱技	箇所	1	

種 別	細 別	規 格	単 位	数 値	備 考
トンネル(NATM)	仮インバート	材料規格 巻厚 補強材有無・規格	m <sup>2</sup>	1	
トンネル(NATM)	ミニバイブルーフ	材料規格 径 長さ	本	1	
トンネル(NATM)	掘削補助工B	水抜きボーリング	本	1	
トンネル(NATM)		垂直織地	本	1	
トンネル(NATM)		パイブルーフ	本	1	
トンネル(NATM)		押え盛土	m <sup>3</sup>	100	ただし1,000m <sup>3</sup> 未満の場合は10m <sup>3</sup>
トンネル(NATM)		薬液注入	m <sup>3</sup>	10	
トンネル(NATM)	ディープウェル	径 深さ	日	1	
トンネル(NATM)		ウエルポイント	日	1	
トンネル(NATM)		トンネル板巻きコンクリート	m	1	
トンネル(NATM)		各種設備	式	1	
トンネル(矢板)	掘削工	掘削	m	0.1	
トンネル(矢板)	支保工	鋼製支保	基	1	
トンネル(矢板)	覆工・防水工	覆工コンクリート・防水	m	0.1	
トンネル(矢板)		止水板	m	1	
トンネル(矢板)		床版コンクリート	m	1	
トンネル(矢板)		裏込注入	m <sup>3</sup>	1	
トンネル(矢板)	インバート工	インバート掘削	m	0.1	
トンネル(矢板)		インバート	m	0.1	
トンネル(矢板)	坑内付帯坑	箱技	箇所	1	

記載の変更

積算上の注意事項		(控え頁)	8/9
----------	--	-------	-----



改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現行	改正	備考
----	----	----

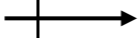
(1) 数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	構造名称	3次元 モデル	属性情報					数量	備考
			構造 形式	規格			単位		
				材種	材質	寸法			
鋼材 質量	橋体 (連毎に区分)	I	○	○		kg			
	付属物 支承	II	×	○		個(kg)			
	高欄	II	×	○		kg			
	防護柵	II	×	○		kg			
	伸縮継手	II	×	○		kg			
	検査路	II	×	○		kg			
	排水装置	II	×	○		kg			
	耐震連結装置	II	×	○		kg			

「橋体」は、BIM/CIMモデルを用いて質量を算出し、属性情報を用いて構造形式と規格を区分することより「I」を適用する。  
「付属物」は、BIM/CIMモデルを用いて質量を算出し、属性情報を用いて規格を区分するが、二次製品を使用する部材が含まれる場合があるため「II」を適用する。なお、質量の算出種別として、ネット質量かグロス質量かを属性情報に明記する。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

区分 項目	構造名称	BIM/CIM モデル	属性情報					数量	備考
			構造 形式	規格			単位		
				材種	材質	寸法			
鋼材 質量	橋体 (連毎に区分)	I	○	○		kg			
	付属物 支承	II	×	○		個(kg)			
	高欄	II	×	○		kg			
	防護柵	II	×	○		kg			
	伸縮継手	II	×	○		kg			
	検査路	II	×	○		kg			
	排水装置	II	×	○		kg			
	耐震連結装置	II	×	○		kg			

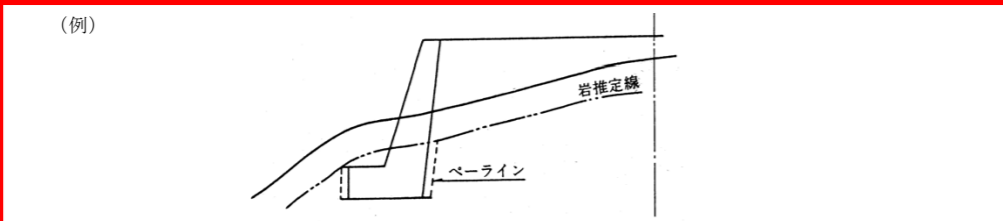
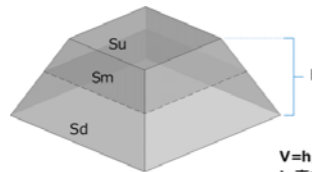
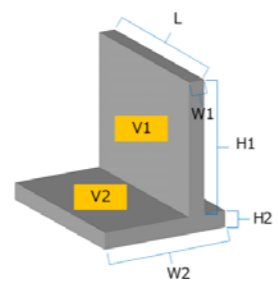
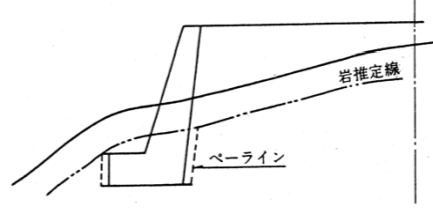


現行どおり

語句の変更

積算上の注意事項		(控え頁) 9/9
----------	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行																		
現 行		改 正																		
<p><b>2.2 安定処理工</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>地盤改良工における安定処理に適用するものとし、スタビライザ混合は現位置での路上混合作業で、混合深さ1mまで、かつ1層までの混合に、バックホウ混合は現場条件によりスタビライザにより施工できない路床改良工事及び構造物基礎の地盤改良工事で1層の混合厚さが路床1m以下・構造物基礎2m以下における現位置での混合作業に適用する。</p> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>安定処理面積を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p>区分は、使用機種、施工箇所、混合深さ、規格とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>使用機種</th> <th>施工箇所</th> <th>混合深さ</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安 定 処 理 面 積</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 施工箇所区分 バックホウ混合の場合、路床、構造物基礎の施工箇所ごとに区分して算出する。</p> <p>(3) 混合深さ区分 施工面積を混合深さごとに区分して算出する。 ①スタビライザ  <ul style="list-style-type: none"> <li>— 0.6m以下</li> <li>— 0.6mを超え1m以下</li> </ul> ②バックホウ <ul style="list-style-type: none"> <li>路床 — 1m以下</li> <li>構造物基礎 — 1m以下</li> <li>— 1mを超え2m以下</li> </ul> </p> <p>(4) 規格区分 施工面積を固化材の使用量(100m<sup>2</sup>当り)、混合回数(スタビライザ混合)ごとに区分して算出する。</p> <p><b>4. 数量算出方法</b></p> <p>数量の算出は、「第1編(共通編)1章 基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。</p> <p>(1) 固化材の使用量(100m<sup>2</sup>当り)はロス等を含むものとする。</p>		区 分	使用機種	施工箇所	混合深さ	規 格	単 位	数 量	備 考	安 定 処 理 面 積	○	○	○	○	m <sup>2</sup>			<p>現行どおり</p> <p>1. 適用</p> <p>地盤改良工における安定処理に適用するものとし、スタビライザ混合は現位置での路上混合作業で、混合深さ1mまで、かつ1層までの混合に、<u>バックホウ混合は現場条件によりスタビライザによる施工ができない路床改良工事のうち1層の混合深さが路床1m以下における現位置での混合作業、又は構造物基礎の地盤改良工事で1層の混合深さが2m以下における現位置での混合作業に適用する。</u></p>		<p>備考</p> <p>積算基準の改定に伴う記載の変更</p>
区 分	使用機種	施工箇所	混合深さ	規 格	単 位	数 量	備 考													
安 定 処 理 面 積	○	○	○	○	m <sup>2</sup>															
積算上の注意事項	1-2-19		(控え頁) 1/1																	

改正理由	一部改正	改正 現 行	備 考
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <p>4. 数量算出方法 数量の算出は、「第1編（共通編）1章 基本事項」によるほか下記によるものとする。</p> <p>(1) ペーラインの計上 型枠を設置できない場合は、ペーラインを計上するものとする。 ペーラインコンクリート厚は、以下のとおりとする。 岩着→ 10cm      土着→5cm</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例)</p>  </div> <p>(2) 3次元CADソフトの利用 体積の計算において、3次元CAD等を用いる場合は、3次元CADソフト等の自動計算機能によりBIM/CIMモデルを分割し、各分割の体積算出及び各分割の合計等を自動計算により算出することができるものとする。</p> <p>(参考) BIM/CIMモデルの分割、各分割の合計等の方式の例</p> <p>a) 水平方向等の分割による算出</p> <p>① BIM/CIMモデルを変化点ごとに、XY平面の水平方向の多角錐体に分割後、多角錐体の各体積を合計し算出する。</p>  <p><math>V = h / 6 \times (Su + Sd + 4 \times Sm)</math> h:高さ Su:上面面積 Sm:中間面積 Sd:下面面積</p> <p>②単純な幾何図形に分割した各体積を基に各体積の和、差等の集合演算により算出する。</p>  <p><math>V1 = W1 \times H1 \times L</math> <math>V2 = W2 \times H2 \times L</math> <math>V = V1 + V2</math></p> <p style="text-align: center;">1-4-3</p>	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現 行</p> <p>(例)</p>  <p style="color: red; font-size: small;">ペーラインコンクリートを計上する場合は、ペーラインコンクリート分の掘削数量も別途算出し計上する。</p>	<p>記載の追加</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現行	改正	備考
----	----	----

4.3 鉄筋工

4.3.1 鉄筋工

1. 適用

河川、海岸、道路、水路、コンクリート橋梁、鋼橋床版の鉄筋構造物の加工・組立、及び、差筋、場所打杭の鉄筋かごの加工・組立に適用する。なお、鉄筋径は、D10 (φ9) 以上 D51 (φ51) 以下とする。

2. 数量算出項目

鉄筋の質量を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、規格・仕様、材料規格、鉄筋径、施工条件、構造物種別、施工規模、太径鉄筋の割合とする。

(1) 数量算出項目及び区分一覧表

1) 加工・組立・差筋

区分 項目	BIM/CIM モデル	属性情報									
		規格 仕様	材料 規格	鉄筋径	施工 条件	構造物 種別	施工 規模	太径鉄筋 の割合	単位	数量	備考
鉄筋	B	○	○	○	○	○	○	○	t		

注) 規格・仕様区分において「場所打杭用かご筋」に区分される場合は、施工条件区分、構造物種別は算出する必要はない。

「鉄筋」は、簡易な形状（点、線、面）を用いて位置と延長より質量を算出し、属性情報を用いて規格・仕様等を区分することより「B」を適用する。

(2) 規格・仕様区分

規格・仕様	適用基準
一般構造物	構造物の鉄筋の加工・組立
場所打杭用かご筋	場所打杭用鉄筋かごの加工・組立

(3) 材料規格区分および鉄筋径区分

材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径
SD295A	D10	SD345	D10	SR235	φ9
	D13		D13		φ13
	D16		D16~D25		φ16~φ25
			D29~D32		
			D35		
			D38		
			D41		
			D51		

1-4-8

現行どおり

(3) 材料規格区分および鉄筋径区分

材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径	材料規格	鉄筋径
<del>SD295A</del>	D10	SD345	D10	SR235	φ9
	D13		D13		φ13
	D16		D16~D25		φ16~φ25
			D29~D32		
			D35		
			D38		
			D41		
			D51		

記載の変更

積算上の注意事項

(控え頁)

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																																																																																																																															
現 行		改 正																																																																																																																																																																																																																																															
<p><b>5.3 植生工</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>植生基材吹付工、客土吹付工、種子散布工、植生マット工、植生シート工、植生筋工、筋芝工、張芝工、市松芝工（格子状に張る場合）、人工張芝工（ネット又はワラ付張芝）、野芝種子吹付工、繊維ネット工、法面施肥工に適用する。</p> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>植生基材吹付、客土吹付、種子散布、植生マット、植生シート、植生筋、筋芝、張芝、市松芝、人工張芝、野芝種子吹付、繊維ネット、法面施肥の面積を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p>区分は、吹付厚さ、種子配合、法長、垂直高とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分 項 目</th> <th rowspan="2">区 BIM/CIM モデル</th> <th colspan="6">属性情報</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>吹付厚さ</th> <th>種子配合</th> <th>法長</th> <th>垂直高</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>植生基材吹付</td><td>B</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 1</td></tr> <tr><td>客土吹付</td><td>B</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr> <tr><td>種子散布</td><td>B</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 5</td></tr> <tr><td>植生マット</td><td>B</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr> <tr><td>植生シート</td><td>B</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 2</td></tr> <tr><td>植生筋</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 3</td></tr> <tr><td>筋 芝</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 3</td></tr> <tr><td>張 芝</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 3、注) 5</td></tr> <tr><td>市松芝</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 3、注) 4</td></tr> <tr><td>人工張芝</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr> <tr><td>野芝種子吹付</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 6</td></tr> <tr><td>繊維ネット</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 7</td></tr> <tr><td>法面施肥</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 8</td></tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p> <p>注) 1. 植生基材吹付については、通常の吹付と枠内吹付に区分して算出する。また、施工基面（機械設置基面）から上面への施工か、下面への施工であるかを区分して算出する。  2. 植生シートについては、標準品と環境品（分解【腐食】型及び循環型【間伐材等使用】）に区分して算出する。  3. 植生筋、筋芝、張芝、市松芝は、材料の総面積ではなく、対象となる法面等の施工面積を算出する。  4. 市松芝は平面部への高麗芝、野芝の芝付と、法面部への高麗芝、野芝の芝付、耳芝のみの施工の場合、公園工事の場合に区分して算出するものとする。散水養生、施肥が必要な場合は別途算出する。  5. 種子散布及び張芝については、平面部・法面部に区分せず合計を算出する。</p> <p>1-5-12</p>		分 項 目	区 BIM/CIM モデル	属性情報						備 考	吹付厚さ	種子配合	法長	垂直高	単位	数量	植生基材吹付	B	○	○	×	○	m <sup>2</sup>	注) 1	客土吹付	B	○	○	×	○	m <sup>2</sup>		種子散布	B	×	○	×	○	m <sup>2</sup>	注) 5	植生マット	B	×	○	×	×	m <sup>2</sup>		植生シート	B	×	○	×	×	m <sup>2</sup>	注) 2	植生筋	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3	筋 芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3	張 芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3、注) 5	市松芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3、注) 4	人工張芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>		野芝種子吹付	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 6	繊維ネット	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 7	法面施肥	B	×	×	○	×	m <sup>2</sup>	注) 8	<p>現行どおり</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分 項 目</th> <th rowspan="2">区 BIM/CIM モデル</th> <th colspan="6">属性情報</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>吹付厚さ</th> <th>種子配合</th> <th>法長</th> <th>垂直高</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>植生基材吹付</td><td>B</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 1</td></tr> <tr><td>客土吹付</td><td>B</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr> <tr><td>種子散布</td><td>B</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>○</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 5</td></tr> <tr><td>植生マット</td><td>B</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td></td></tr> <tr><td>植生シート</td><td>B</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 2</td></tr> <tr><td>植生筋</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 3</td></tr> <tr><td>筋 芝</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 3</td></tr> <tr><td>張 芝</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 3、注) 5</td></tr> <tr><td>市松芝</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 3、注) 4</td></tr> <tr><td>人工張芝</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 9、注) 10</td></tr> <tr><td>野芝種子吹付</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 6</td></tr> <tr><td>繊維ネット</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 7</td></tr> <tr><td>法面施肥</td><td>B</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>m<sup>2</sup></td><td>注) 8</td></tr> </tbody> </table> <p>積算基準の改定に伴う記載の追加</p>		分 項 目	区 BIM/CIM モデル	属性情報						備 考	吹付厚さ	種子配合	法長	垂直高	単位	数量	植生基材吹付	B	○	○	×	○	m <sup>2</sup>	注) 1	客土吹付	B	○	○	×	○	m <sup>2</sup>		種子散布	B	×	○	×	○	m <sup>2</sup>	注) 5	植生マット	B	×	○	×	×	m <sup>2</sup>		植生シート	B	×	○	×	×	m <sup>2</sup>	注) 2	植生筋	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3	筋 芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3	張 芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3、注) 5	市松芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3、注) 4	人工張芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 9、注) 10	野芝種子吹付	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 6	繊維ネット	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 7	法面施肥	B	×	×	○	×	m <sup>2</sup>	注) 8
分 項 目	区 BIM/CIM モデル			属性情報							備 考																																																																																																																																																																																																																																						
		吹付厚さ	種子配合	法長	垂直高	単位	数量																																																																																																																																																																																																																																										
植生基材吹付	B	○	○	×	○	m <sup>2</sup>	注) 1																																																																																																																																																																																																																																										
客土吹付	B	○	○	×	○	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																																											
種子散布	B	×	○	×	○	m <sup>2</sup>	注) 5																																																																																																																																																																																																																																										
植生マット	B	×	○	×	×	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																																											
植生シート	B	×	○	×	×	m <sup>2</sup>	注) 2																																																																																																																																																																																																																																										
植生筋	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3																																																																																																																																																																																																																																										
筋 芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3																																																																																																																																																																																																																																										
張 芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3、注) 5																																																																																																																																																																																																																																										
市松芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3、注) 4																																																																																																																																																																																																																																										
人工張芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																																											
野芝種子吹付	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 6																																																																																																																																																																																																																																										
繊維ネット	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 7																																																																																																																																																																																																																																										
法面施肥	B	×	×	○	×	m <sup>2</sup>	注) 8																																																																																																																																																																																																																																										
分 項 目	区 BIM/CIM モデル	属性情報						備 考																																																																																																																																																																																																																																									
		吹付厚さ	種子配合	法長	垂直高	単位	数量																																																																																																																																																																																																																																										
植生基材吹付	B	○	○	×	○	m <sup>2</sup>	注) 1																																																																																																																																																																																																																																										
客土吹付	B	○	○	×	○	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																																											
種子散布	B	×	○	×	○	m <sup>2</sup>	注) 5																																																																																																																																																																																																																																										
植生マット	B	×	○	×	×	m <sup>2</sup>																																																																																																																																																																																																																																											
植生シート	B	×	○	×	×	m <sup>2</sup>	注) 2																																																																																																																																																																																																																																										
植生筋	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3																																																																																																																																																																																																																																										
筋 芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3																																																																																																																																																																																																																																										
張 芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3、注) 5																																																																																																																																																																																																																																										
市松芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 3、注) 4																																																																																																																																																																																																																																										
人工張芝	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 9、注) 10																																																																																																																																																																																																																																										
野芝種子吹付	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 6																																																																																																																																																																																																																																										
繊維ネット	B	×	×	×	×	m <sup>2</sup>	注) 7																																																																																																																																																																																																																																										
法面施肥	B	×	×	○	×	m <sup>2</sup>	注) 8																																																																																																																																																																																																																																										
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																																																																																																																																																																																																														

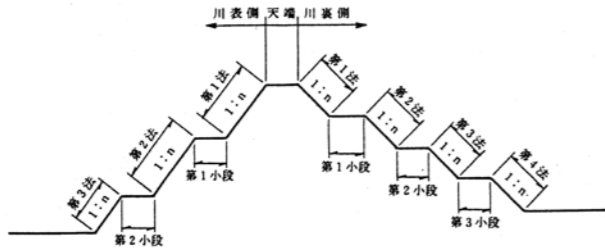
改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現 行	改 正	備 考
-----	-----	-----

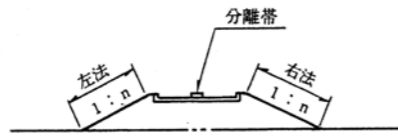
6. 被覆シート張、養生（散水養生）が必要な場合は、別途算出する。  
 7. 繊維ネットは、肥料袋の有無でも区分して算出する。  
 8. 法面施肥は、肥料の使用量(g/m<sup>2</sup>)も算出する。また、法勾配を備考欄に明記する。

(2) 施工箇所区分  
 植生筋工、筋芝、張芝、市松芝については、略図に名称を明示し施工箇所ごとに区分して算出する。

(河川略図例)



(道路略図例)



(3) 種子配合区分  
 種子配合毎に区分して算出する。

(4) 法長区分  
 法長による区分は、下表のとおりとする。

項 目	平均法長による区分		
法 面 施 肥	① 20m以下	② 20mを超え50m以下	③ 50mを超える

(5) 垂直高区分  
 法面の垂直高による区分は、下表のとおりとする。

項 目	法面垂直高による区分		
植生基材吹付	① 4.5m以下	② 4.5mを超え8.0m以下	③ 8.0mを超える
客土吹付工	① 2.5m以下	② 2.5mを超える	
種子散布工	① 3.0m以下	② 3.0mを超える	

注) 垂直高は、施工基面（機械設置基面）からの高さとする。

1-5-13

6. 被覆シート張、養生（散水養生）が必要な場合は、別途算出する。  
 7. 繊維ネットは、肥料袋の有無でも区分して算出する。  
 8. 法面施肥は、肥料の使用量(g/m<sup>2</sup>)も算出する。また、法勾配を備考欄に明記する。  
9. かけ土は必要に応じて別途算出する。  
10. 落下防止、姿勢維持のための仮設ロープ等を使用する場合は別途算出する。

積算基準の改定に伴う記載の追加

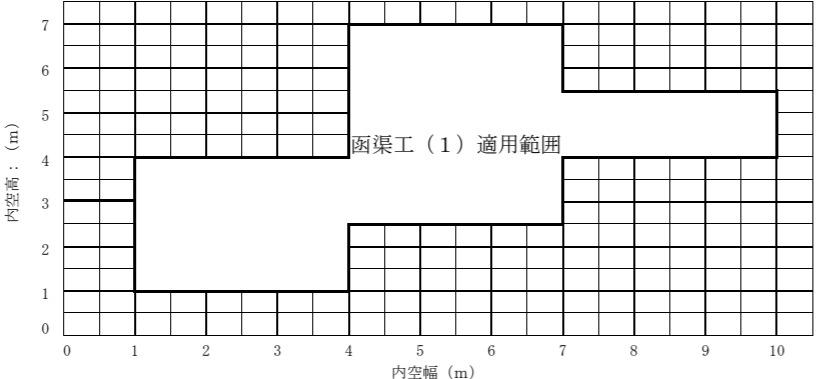
現行どおり

積算上の注意事項			(控え頁) 2/2
----------	--	--	--------------

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																																																																																																																										
現 行	改 正	備 考																																																																																																																																																																																																										
<p><b>6.4 場所打擁壁工</b></p> <p><b>6.4.1 場所打擁壁工(1)</b></p> <p>1. 適用</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">擁壁工の施工に適用する。</div> <p>2. 数量算出項目</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 2px;">小型擁壁 (A)、小型擁壁 (B)、重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁、ペーラインコンクリートの数量を区分ごとに算出する。</div> <p>注) 1. 基礎碎石厚さ20cmを超える場合は、「第1編(共通編)9.1基礎・裏込砕石工」によるものとする。 2. ペーラインコンクリートについては、「第1編(共通編)4.1コンクリート工」によるものとする。</p> <p>3. 区分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">区分は、平均擁壁高さ、コンクリート規格、施工条件、鉄筋量、基礎碎石の有無、均しコンクリートの有無、養生工の種類、圧送管延長距離区分とする。</div> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 項目</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="10">属性情報</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>平均擁壁高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>施工条件</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小型擁壁(A)</td> <td>A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小型擁壁(B)</td> <td>A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>重力式擁壁</td> <td>A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>もたれ式擁壁</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>逆T式擁壁</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>L型擁壁</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>各項目は、BIM/CIMモデルより体積を算出する。属性情報を用いて平均擁壁高さ等を区分することにより「A」を適用する。</p> <p>注) 1. 設計数量は、つま先版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 2. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 3. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配或いは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 4. 圧送管延長区分は、6.4.2 場所打擁壁工(2)3.区分(3)に準ずる。</p> <p style="text-align: center;">1-6-10</p>	区分 項目	BIM/CIM モデル	属性情報										備考	平均擁壁高さ	コンクリート規格	施工条件	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	単位	数量	小型擁壁(A)	A	○	○	×	×	○	○	○	×	m <sup>3</sup>			小型擁壁(B)	A	○	○	○	×	○	○	○	×	m <sup>3</sup>			重力式擁壁	A	○	○	×	×	○	○	○	○	m <sup>3</sup>			もたれ式擁壁	A	×	○	×	×	○	○	○	○	m <sup>3</sup>			逆T式擁壁	A	×	○	×	○	○	○	○	○	m <sup>3</sup>			L型擁壁	A	×	○	×	○	○	○	○	○	m <sup>3</sup>			<p>2. 数量算出項目</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">小型擁壁 <del>(A)</del>、<del>小型擁壁 (B)</del>、重力式擁壁、もたれ式擁壁、逆T型擁壁、L型擁壁、ペーラインコンクリートの数量を区分ごとに算出する。</div> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 項目</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="10">属性情報</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>平均擁壁高さ</th> <th>コンクリート規格</th> <th>施工条件</th> <th>鉄筋量</th> <th>基礎碎石の有無</th> <th>均しコンクリートの有無</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><del>小型擁壁(A)</del></td> <td>A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><del>小型擁壁(B)</del></td> <td><del>A</del></td> <td><del>○</del></td> <td><del>○</del></td> <td><del>○</del></td> <td><del>×</del></td> <td><del>○</del></td> <td><del>○</del></td> <td><del>○</del></td> <td><del>×</del></td> <td><del>m<sup>3</sup></del></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>重力式擁壁</td> <td>A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>もたれ式擁壁</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>逆T式擁壁</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>L型擁壁</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>	区分 項目	BIM/CIM モデル	属性情報										備考	平均擁壁高さ	コンクリート規格	施工条件	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	単位	数量	<del>小型擁壁(A)</del>	A	○	○	×	×	○	○	○	×	m <sup>3</sup>			<del>小型擁壁(B)</del>	<del>A</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	<del>×</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	<del>×</del>	<del>m<sup>3</sup></del>			重力式擁壁	A	○	○	×	×	○	○	○	○	m <sup>3</sup>			もたれ式擁壁	A	×	○	×	×	○	○	○	○	m <sup>3</sup>			逆T式擁壁	A	×	○	×	○	○	○	○	○	m <sup>3</sup>			L型擁壁	A	×	○	×	○	○	○	○	○	m <sup>3</sup>			<p>積算基準の改定に伴う記載の削除</p> <p>積算基準の改定に伴う記載の削除</p>
区分 項目			BIM/CIM モデル	属性情報										備考																																																																																																																																																																																														
	平均擁壁高さ	コンクリート規格		施工条件	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	単位	数量																																																																																																																																																																																																	
小型擁壁(A)	A	○	○	×	×	○	○	○	×	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
小型擁壁(B)	A	○	○	○	×	○	○	○	×	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
重力式擁壁	A	○	○	×	×	○	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
もたれ式擁壁	A	×	○	×	×	○	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
逆T式擁壁	A	×	○	×	○	○	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
L型擁壁	A	×	○	×	○	○	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
区分 項目	BIM/CIM モデル	属性情報										備考																																																																																																																																																																																																
		平均擁壁高さ	コンクリート規格	施工条件	鉄筋量	基礎碎石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	単位	数量																																																																																																																																																																																																	
<del>小型擁壁(A)</del>	A	○	○	×	×	○	○	○	×	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
<del>小型擁壁(B)</del>	<del>A</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	<del>×</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	<del>○</del>	<del>×</del>	<del>m<sup>3</sup></del>																																																																																																																																																																																																		
重力式擁壁	A	○	○	×	×	○	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
もたれ式擁壁	A	×	○	×	×	○	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
逆T式擁壁	A	×	○	×	○	○	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
L型擁壁	A	×	○	×	○	○	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																																																																																																																																																																									

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
現	行	改 正	備 考
<p>[参考図] 擁壁高さが変化する場合の擁壁平均高さH (m)</p> <p><math>H = A/L</math> (m) A = 正面図での擁壁面積 (m<sup>2</sup>) L = 擁壁延長 (m)</p> <p style="text-align: center;">擁壁延長 L (m)      擁壁平均高さ H (m)</p> <p style="text-align: center;">擁壁正面図      擁壁断面図</p> <p><b>4. 数量算出方法</b> 擁壁本体コンクリート数量に含めないものについては、コンクリート数量を本体と区分して計上する。 ・擁壁本体コンクリート打設後に打設する付属物（擁壁天端に施工する壁高欄等）については、別途コンクリート、型枠、目地材等必要数量を算出する。</p> <p>[参考図] 擁壁本体コンクリート数量の範囲</p> <p style="text-align: center;">1-6-11</p>		<p>現行どおり</p>	<p>記載の追加</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2



改正理由	一部改正	改正 現行																									
現	行	改	正																								
<p><b>7.1.2 函渠工(2)</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">函渠工(1)の適用範囲を外れた函渠工コンクリート打設に適用する。</div> <p>参考(函渠工(1)の適用範囲を外れた函渠工)</p> <p>河川工事で施工する函渠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>樋門・樋管(函渠(門柱等含む)、翼壁、水叩)、ボックス形式の水路等</li> </ul> <p>道路工事で施工する函渠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボックスカルバート以外の函渠</li> <li>1層又は1層2連以外の函渠</li> <li>土被りが9mを超える函渠</li> <li>「第1編(共通編)7.1.1函渠工(1)」の適用範囲を外れる函渠(下図参照)</li> </ul>  <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">コンクリート(場所打函渠)の体積を区分ごとに算出する。</div> <p><b>3. 区分</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">区分は、規格、生コンクリート規格、養生工の種類、圧送管延長距離区分とする。</div> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">3次元モデル</th> <th colspan="4">属性情報</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>規格</th> <th>生コンクリート規格</th> <th>養生工の種類</th> <th>圧送管延長距離区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート(場所打函渠)</td> <td>A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>「コンクリート(場所打函渠)」は、3次元モデルより体積を算出し、属性情報を用いて規格等を区分することより「A」を適用する。</p> </div> <p style="text-align: center;">1-7-3</p>		項目	区分	3次元モデル	属性情報				単位	数量	備考	規格	生コンクリート規格	養生工の種類	圧送管延長距離区分	コンクリート(場所打函渠)	A	○	○	○	○	m <sup>3</sup>			<p>現行どおり</p>		備考
項目	区分				3次元モデル	属性情報						単位	数量	備考													
		規格	生コンクリート規格	養生工の種類		圧送管延長距離区分																					
コンクリート(場所打函渠)	A	○	○	○	○	m <sup>3</sup>																					
積算上の注意事項			<p>語句の修正</p> <p>語句の修正</p>																								
			(控え頁) 1/1																								

工 種	サンドドレーン工, サンドコンパクションパイル工, サンドマット工・粉体噴射攪拌工(DJM工法)
-----	--

改正理由	一部改正	改正 現行																																																																																																													
現 行		改 正																																																																																																													
<p><b>8章 地盤改良工</b></p> <p><b>8.1 サンドドレーン工, サンドコンパクションパイル工, サンドマット工</b></p> <p>1. 適用</p> <p>粘土、シルト及び有機質土等の地盤を対象として行うサンドドレーン工、サンドコンパクションパイル工、サンドマット工及びこれらの工種の併用工に適用する。</p> <p>2. 数量算出項目</p> <p>サンドドレーン、サンドコンパクションパイル及びサンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工の本数、サンドマットの体積、安定シート・ネットの面積を区分ごとに算出する。</p> <p>3. 区分</p> <p>区分は、杭径、打設長、規格とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="6">属性情報</th> </tr> <tr> <th>杭 径</th> <th>打 設 長</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ ン ド ド レ ー ン</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サントコンパクションパイル</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サ ン ド マ ッ ト</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>安 定 シ ー ト ・ ネ ッ ト</td> <td>B</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p> <p>(2) 杭径区分 サンドドレーン、サンドコンパクションパイルの本数を杭径ごとに区分して算出する。 サンドドレーン、サンドコンパクションパイル併用工については、工種毎に区分して1本当り内訳にて算出する。</p> <p>(3) 打設長区分 サンドドレーン、サンドコンパクションパイルの本数を打設長ごとに区分して算出する。 サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工の場合は、工種毎の打設長で判断せず、造成する砂杭1本当りの打設長で区分する。 サンドマットがある場合、サンドマットの厚みを含む打設長とする。</p> <p>(4) サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工 サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工については、(1)数量算出項目及び区分一覧表で算出した以外に各々サンドドレーン部分、サンドコンパクションパイル部分に分けて算出する。</p>		区 分	BIM/CIM モデル	属性情報						杭 径	打 設 長	規 格	単 位	数 量	備 考	サ ン ド ド レ ー ン	B	○	○	○	本			サントコンパクションパイル	B	○	○	○	本			サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工	B	○	○	○	本			サ ン ド マ ッ ト	A	×	×	○	m <sup>3</sup>			安 定 シ ー ト ・ ネ ッ ト	B	×	×	○	m <sup>2</sup>			<p>現行どおり</p> <p>2. 数量算出項目</p> <p>サンドドレーン、サンドコンパクションパイル及びサンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工の本数、サンドマットの体積、<u>安定シート・ネットの面積</u>を区分ごとに算出する。</p> <p>現行どおり</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="6">属性情報</th> </tr> <tr> <th>杭 径</th> <th>打 設 長</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ ン ド ド レ ー ン</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サントコンパクションパイル</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>サ ン ド マ ッ ト</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>安 定 シ ー ト ・ ネ ッ ト</u></td> <td><u>B</u></td> <td><u>×</u></td> <td><u>×</u></td> <td><u>○</u></td> <td><u>m<sup>2</sup></u></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>現行どおり</p>		区 分	BIM/CIM モデル	属性情報						杭 径	打 設 長	規 格	単 位	数 量	備 考	サ ン ド ド レ ー ン	B	○	○	○	本			サントコンパクションパイル	B	○	○	○	本			サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工	B	○	○	○	本			サ ン ド マ ッ ト	A	×	×	○	m <sup>3</sup>			<u>安 定 シ ー ト ・ ネ ッ ト</u>	<u>B</u>	<u>×</u>	<u>×</u>	<u>○</u>	<u>m<sup>2</sup></u>		
区 分	BIM/CIM モデル			属性情報																																																																																																											
		杭 径	打 設 長	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																								
サ ン ド ド レ ー ン	B	○	○	○	本																																																																																																										
サントコンパクションパイル	B	○	○	○	本																																																																																																										
サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工	B	○	○	○	本																																																																																																										
サ ン ド マ ッ ト	A	×	×	○	m <sup>3</sup>																																																																																																										
安 定 シ ー ト ・ ネ ッ ト	B	×	×	○	m <sup>2</sup>																																																																																																										
区 分	BIM/CIM モデル	属性情報																																																																																																													
		杭 径	打 設 長	規 格	単 位	数 量	備 考																																																																																																								
サ ン ド ド レ ー ン	B	○	○	○	本																																																																																																										
サントコンパクションパイル	B	○	○	○	本																																																																																																										
サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工	B	○	○	○	本																																																																																																										
サ ン ド マ ッ ト	A	×	×	○	m <sup>3</sup>																																																																																																										
<u>安 定 シ ー ト ・ ネ ッ ト</u>	<u>B</u>	<u>×</u>	<u>×</u>	<u>○</u>	<u>m<sup>2</sup></u>																																																																																																										
積算上の注意事項		(控え頁) 1/2																																																																																																													

積算基準の改定に伴う記載の削除

積算基準の改定に伴う記載の削除

改正理由	一部改正	改正 現行	
------	------	----------	--

現	行	改	正	備	考
---	---	---	---	---	---

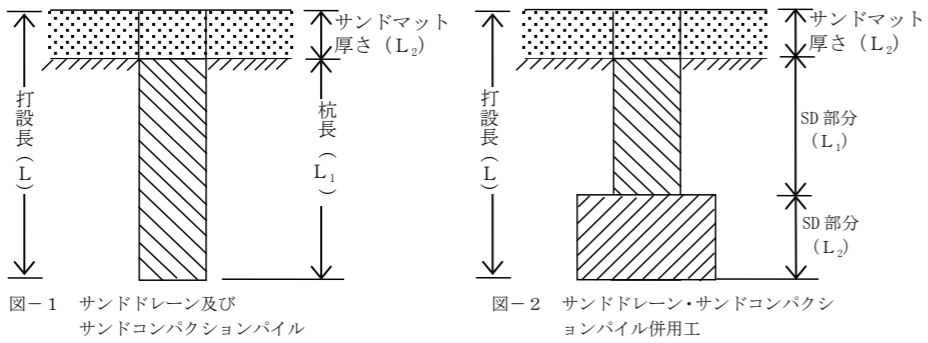
サンドドレーン・サンドコンパクションパイル併用工1本当り内訳

区分	項目	サンドドレーン部分		サンドコンパクションパイル部分	
		単位	数量	単位	数量
規格		-	-	-	-
杭径		m		m	
打設長		m		m	

(5) サンドマットの対象体積、安定シート・ネットの対象面積  
 サンドマット用砂の設計体積は次式による。  
 $V_m = A \times L$   
 $V_m$  : サンドマット用砂の設計体積 (m<sup>3</sup>)  
 $A$  : 設計断面積 (m<sup>2</sup>)  
 $L$  : 設計延長 (m)  
 安定シート・ネットの設計面積は次式による。  
 $A_m = W \times L$   
 $A_m$  : 設計面積 (m<sup>2</sup>)  
 $W$  : 設計幅員 (m)  
 $L$  : 設計延長 (m)

4. 数量算出方法  
 数量算出方法は、「第1章(共通編) 1章基本事項」による

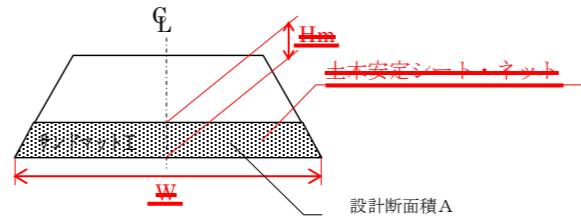
5. 参考図(施工図)



1-8-3

現行どおり

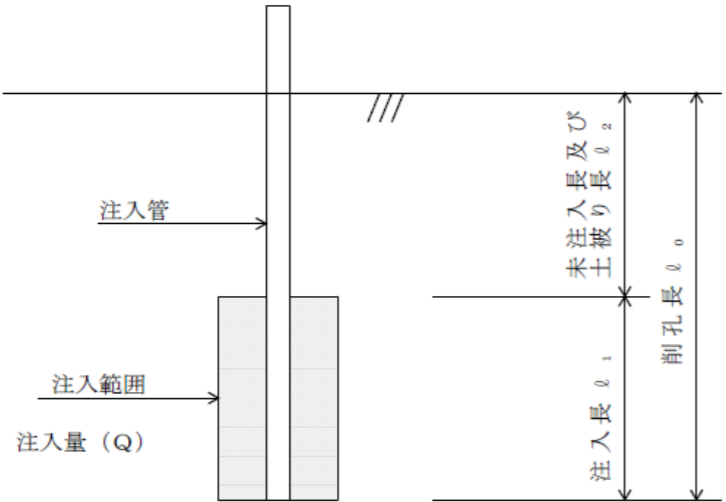
(5) サンドマットの対象体積、~~安定シート・ネットの対象面積~~  
 サンドマット用砂の設計体積は次式による。  
 $V_m = A \times L$   
 $V_m$  : サンドマット用砂の設計体積 (m<sup>3</sup>)  
 $A$  : 設計断面積 (m<sup>2</sup>)  
 $L$  : 設計延長 (m)  
~~安定シート・ネットの設計面積は次式による。~~  
 ~~$A_m = W \times L$~~   
 ~~$A_m$  : 設計面積 (m<sup>2</sup>)~~  
 ~~$W$  : 設計幅員 (m)~~  
 ~~$L$  : 設計延長 (m)~~

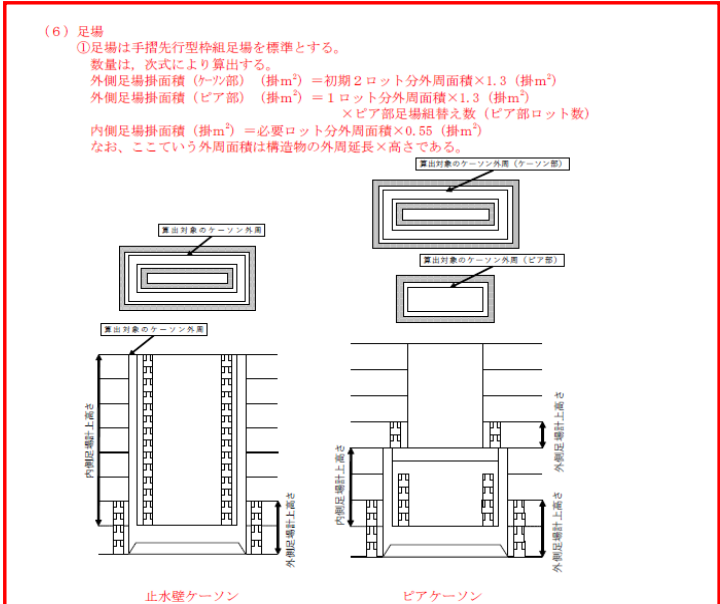


現行どおり

積算基準の改定に伴う記載の削除

改正理由	一部改正	改正 現行																																			
現 行		改 正																																			
<p><b>8.5 高圧噴射攪拌工</b></p> <p>1. 適用</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">粘性土及び砂質土等の地盤を対象として行う高圧噴射攪拌工のうち単管工法、二重管工法、三重管工法に適用する。</div> <p>2. 数量算出項目</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">打設本数を区分ごとに算出する。</div> <p>3. 区分</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">区分は、杭径、削孔長、規格、土質とする。</div> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="7">属性情報</th> </tr> <tr> <th>杭径</th> <th>削孔長</th> <th>規 格</th> <th>土 質</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>打 設 本 数</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>注 入 設 備 の 移 設</td> <td>B</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>回</td> <td></td> <td>注) 2</td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする  注) 1. 足場が必要な場合は、「第1編（共通編）11章11.4足場工」により算出する。  2. 注入設備の移設は、注入設備を中心に50mを超える場合、または同一現場内に施工箇所が2箇所以上あり、注入設備を移設しなければならない場合に、移設必要回数を算出する。</p> <p>(2) 杭径区分</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①単管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>700mm以上800mm以下</li> <li>800mmを超え、1,100mm以下</li> <li>上記以外（実杭径毎）</li> </ul> <p>②二重管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1,000mm</li> <li>1,200mm</li> <li>1,400mm</li> <li>1,600mm</li> <li>1,800mm</li> <li>2,000mm</li> <li>上記以外（実杭径毎）</li> </ul> <p>③三重管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1,800mm</li> <li>2,000mm</li> <li>上記以外（実杭径毎）</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p>(2) 杭径区分</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①単管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>700mm以上800mm以下</li> <li>800mmを超え、1,100mm以下</li> <li>上記以外（実杭径毎）</li> </ul> <p>②二重管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1,000mm</li> <li>1,200mm</li> <li>1,400mm</li> <li>1,600mm</li> <li>1,800mm</li> <li>2,000mm</li> <li>2,300mm</li> <li>2,500mm</li> <li>3,000mm</li> <li>上記以外（実杭径毎）</li> </ul> <p>③三重管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1,800mm</li> <li>2,000mm</li> <li>上記以外（実杭径毎）</li> </ul> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p> </div> </div> </div> </div> <p>(3) 削孔長区分 打設本数を注入長及び土被り長ごとに区分して算出する。</p> <p>(4) 規格区分 高圧噴射攪拌工の注入材の種類とする。</p> <p style="text-align: center;">1-8-11</p>		区 分	BIM/CIM モデル	属性情報							杭径	削孔長	規 格	土 質	単 位	数 量	備 考	打 設 本 数	B	○	○	○	○	本			注 入 設 備 の 移 設	B	×	×	×	×	回		注) 2	<p>現行どおり</p> <p>記載の変更</p> <p>現行どおり</p>	備考
区 分	BIM/CIM モデル			属性情報																																	
		杭径	削孔長	規 格	土 質	単 位	数 量	備 考																													
打 設 本 数	B	○	○	○	○	本																															
注 入 設 備 の 移 設	B	×	×	×	×	回		注) 2																													
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																		

改正理由	一部改正	改正 現行	
現 行	改 正		備 考
<p>(5) 土質区分</p> <p>1) 工法ごとに下記の区分ごとに算出する。</p> <p>①単管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 砂質土 (N値 ≤ 13)</li> <li>— 粘性土 (N値 &lt; 1)</li> <li>— 粘性土 (1 ≤ N値 ≤ 4)</li> </ul> <p>②二重管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— レキ質土</li> <li>— 砂質土 (N値 ≤ 30)</li> <li>— 砂質土 (N値 &gt; 30)</li> <li>— 粘性土</li> </ul> <p>③三重管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— レキ質土 (N値 ≤ 50)</li> <li>— レキ質土 (N値 &gt; 50)</li> <li>— 砂質土 (N値 ≤ 50)</li> <li>— 砂質土 (N値 &gt; 50)</li> <li>— 粘性土</li> </ul> <p>2) 工法名についても明記する。</p> <p>4. 数量算出方法 数量算出の方法は、「第1章(共通編)1章基本事項」によるものとする。</p> <p>5. 参考図(施工図)</p>  <p style="text-align: center;">1-8-12</p>	<p>(5) 土質区分</p> <p>1) 工法ごとに下記の区分ごとに算出する。</p> <p>①単管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— 砂質土 (N値 ≤ 13)</li> <li>— 粘性土 (N値 &lt; 1)</li> <li>— 粘性土 (1 ≤ N値 ≤ 4)</li> </ul> <p>②二重管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— レキ質土</li> <li>— 砂質土 (N値 ≤ 30 [N値 ≤ 10, 10 &lt; N値 ≤ 20, 20 &lt; N値 ≤ 30])</li> <li>— 砂質土 (N値 &gt; 30 [30 &lt; N値 ≤ 35, 35 &lt; N値 ≤ 40, 40 &lt; N値 ≤ 50])</li> <li>— 粘性土 [N値 &lt; 1, N値 = 1, N値 = 2, N値 = 3, N値 = 4, 4 &lt; N値 ≤ 5]</li> </ul> <p>③三重管工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>— レキ質土 (N値 ≤ 50)</li> <li>— レキ質土 (N値 &gt; 50)</li> <li>— 砂質土 (N値 ≤ 50 [N値 ≤ 30, 30 &lt; N値 ≤ 50])</li> <li>— 砂質土 (N値 &gt; 50 [50 &lt; N値 ≤ 100])</li> <li>— 粘性土 [N値 ≤ 3, 3 &lt; N値 ≤ 5]</li> </ul> <p style="text-align: center;">現行どおり</p>		<p>記載の修正</p>
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>2/2</p>

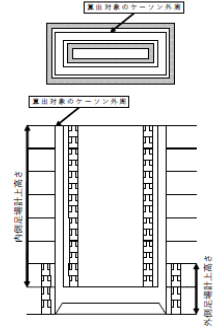
改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	<p>2) 刃口設置のため掘削及び盛土が必要な場合は別途算出する。</p> <p>(3) コンクリート及びグラウト量 コンクリート及びグラウトの数量は、下記の項目ごとに算出する。 ① ケーソン躯体コンクリート ② 底スラブコンクリート ③ 上スラブコンクリート ④ 止水壁コンクリート ⑤ 中埋コンクリート ⑥ コンタクトグラウト</p> <p>(4) 鉄筋 鉄筋の数量は、「第1編（共通編）4章コンクリート工 4.3.1 鉄筋工」により算出する。</p> <p>(5) 型枠 型枠の数量は、「第1編（共通編）4章コンクリート工 4.2 型枠工」により算出する。</p> <p>(6) 足場 足場の種類は、枠組足場を標準とする。 数量は、次式により算出する。 1ロットの足場掛面積 (掛m<sup>2</sup>) = 1ロットの外周面積 × 1.6 (掛m<sup>2</sup>) なお、上式の数量は、ケーソン内側の足場数量も含む。</p> <p>(7) 沈下促進 載荷工法は、水荷重（ポンプによる注排水）を標準とし、水量（t）を算出する。</p> <p>(8) 送気延長は、空気圧縮機からゲージ設備までと、ゲージ設備からケーソンまでとに区分して算出する。</p>	<p>現行どおり</p> <p>(6) 足場 ①足場は手摺先行型枠組足場を標準とする。 数量は、次式により算出する。 外側足場掛面積（ケツ部） (掛m<sup>2</sup>) = 初期2ロット分外周面積 × 1.3 (掛m<sup>2</sup>) 外側足場掛面積（ピア部） (掛m<sup>2</sup>) = 1ロット分外周面積 × 1.3 (掛m<sup>2</sup>) ×ピア部足場組替え数（ピア部ロット数） 内側足場掛面積 (掛m<sup>2</sup>) = 必要ロット分外周面積 × 0.55 (掛m<sup>2</sup>) なお、ここの外周面積は構造物の外周延長 × 高さである。</p>  <p>止水壁ケーソン</p> <p>ピアケーソン</p>	<p>記載の変更</p>
積算上の注意事項	1-9-20	3ページ先へ移動	(控え頁) 1/4

工 種	場所打杭工、深基工・ケーソン
-----	----------------

改正理由	一部改正	改正 現 行	
------	------	-----------	--

現	行	改	正	備 考
---	---	---	---	-----

--

	<p>②足場材の賃料を計上する場合、次式の通り算定することができる。  賃料 = L × (M1 × T + M2) × A (円)  L : 賃料係数 (1.3)  M1 : 先行据置 2 段手すりの 1 日当たりの賃料 (円/日)  M2 : 先行据置 2 段手すりの基本料金 (円)  T : 足場材の供用日数 (日)  A : 足場の掛面積 (掛m<sup>2</sup>)</p> <p>1) 止水壁ケーソンの算出イメージ</p>  <p>◎足場掛面積の算出例</p> <p>・外側足場  ケーソン外周54m、外側足場の1ロット目高さ5m、2ロット目高さ4m  供用日T：212日、先行据置2段手すりの1日当たり賃料M1：7.2円/日、先行据置2段手すりの基本料金M2：320円の場合</p> <p>初期2ロット分外周面積 = 54m × (5m + 4m) = 486m<sup>2</sup>  外側足場掛面積 = 486m<sup>2</sup> × 1.3 ≈ 632 (掛m<sup>2</sup>)  足場材賃料 = 1.3 × (7.2円/日 × 212日 + 320円) × 632 (掛m<sup>2</sup>) ≈ 1,517,002円</p> <p>・内側足場  ケーソン外周54m、内側足場の1ロットあたり高さ4m、必要ロット数7  供用日T：212日、先行据置2段手すりの1日当たり賃料M1：7.2円/日、先行据置2段手すりの基本料金M2：320円の場合</p> <p>内側足場は、ケーソン1基当り全内側足場掛m<sup>2</sup>の1/2に全供用日数を計上・・・足場材賃料①  全内側足場の残り1/2掛m<sup>2</sup>に全供用日数の1/2を計上……………足場材賃料②</p> <p>必要ロット分外周面積 = 54m × (7 × 4m) = 1,512m<sup>2</sup>  内側足場掛面積 = 1,512m<sup>2</sup> × 0.55 ≈ 832 (掛m<sup>2</sup>)  足場材賃料① = 1.3 × (7.2円/日 × 212日 + 320円) × 832 (掛m<sup>2</sup>) ÷ 2  ≈ 998,533円  足場材賃料② = 1.3 × (7.2円/日 × 212日 ÷ 2 + 320円) × 832 (掛m<sup>2</sup>) ÷ 2  ≈ 585,795円  足場材賃料 = 998,533円 + 585,795円 = 1,584,328円</p>		記載の変更
	1-9-21		

積算上の注意事項
----------

(控え頁) 2/4
--------------

改正理由	一部改正	改 正 — 現 行	
現	行	改	正
		備	考
		記載の変更	
		1-9-22	
積算上の注意事項			(控え頁) 3/4

2) ビアケーソンの算出イメージ

◎足場掛面積の算出例

- ・外側足場 (ケーソン部)
  - ケーソン外周54m、外側足場の1ロット目高さ5m、2ロット目高さ4m
  - ケーソン部の供用日T：93日、先行据置2段手すりの1日当たり賃料M1：7.2円/日、先行据置2段手すりの基本料金M2：320円の場合
  - 初期2ロット分外周面積=54m×(5m+4m)=486m<sup>2</sup>
  - 外側足場掛面積=486m<sup>2</sup>×1.3≒632(掛m<sup>2</sup>)
  - 足場材賃料=1.3×(7.2円/日×93日+320円)×632(掛m<sup>2</sup>)≒813,055円
- ・外側足場 (ピア部)
  - ピア外周32m、外側足場の1ロット高さ4m、ピア部足場組替え数(4ロット分)ピア部の供用日T：119日、先行据置2段手すりの1日当たり賃料M1：7.2円/日、先行据置2段手すりの基本料金M2：320円の場合
  - 注) ケーソン部の足場材をピア部に転用する場合は基本料金の計上は不要
  - 1ロット分外周面積=32m×4m=128m<sup>2</sup>
  - 外側足場掛面積=128m<sup>2</sup>×1.3≒166(掛m<sup>2</sup>)
  - 足場材賃料=1.3×(7.2円/日×119日+320円)×166(掛m<sup>2</sup>)≒253,593円
- ・内側足場
  - ケーソン外周54m、内側足場の1ロットあたり高さ4m、必要ロット数2
  - 供用日T：93日、先行据置2段手すりの1日当たり賃料M1：7.2円/日、先行据置2段手すりの基本料金M2：320円の場合
  - 内側足場は、ケーソン1基当たり全内側足場掛m<sup>2</sup>の1/2に全供用日数を計上…足場材賃料①
  - 全内側足場の残り1/2掛m<sup>2</sup>に全供用日数の1/2を計上……………足場材賃料②



改正理由	一部改正	改正 現行	
現 行	改 正		備 考
	<p>3ページ前から移動</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>必要ロット分外周面積=54m×(2×4m)=432m<sup>2</sup>            内側足場掛面積=432m<sup>2</sup>×0.55≒238(掛m<sup>2</sup>)            足場材賃料①=1.3×(7.2円/日×93日+320円)×238(掛m<sup>2</sup>)÷2            ≒153,091円            足場材賃料②=1.3×(7.2円/日×93日÷2+320円)×238(掛m<sup>2</sup>)÷2            ≒101,298円            足場材賃料=153,091円+101,298円=254,389円</p> </div> <p>(7) 沈下促進            載荷工法は、水荷重(ポンプによる注排水)を標準とし、水量(t)を算出する。</p> <p>(8) 送気延長は、空気圧縮機からゲージ設備までと、ゲージ設備からケーソンまでとに区分して算出する。</p> <p style="text-align: right;">1-9-23</p>		<p>記載の変更</p>
積算上の注意事項			<p>(控え頁)</p> <p>4/4</p>

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																																																																																																																				
現 行	改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																				
	<p><b>10章 構造物取壊し工</b></p> <p><b>10.1 構造物取壊し工</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>土木工事におけるコンクリート構造物等の取壊し工に適用する。 ただし、建築物および舗装版の取壊し工及びブロック施工による旧橋撤去には適用しない。</p> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>コンクリート構造物等の取壊しの数量を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p>石積取壊し（人力）とコンクリートはつりの区分は、種別、形状とする。 吹付法面とりこわしの区分は、種別、形状、集積積込の有無とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="4">属 性 情 報</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種 別</th> <th>形 状</th> <th>集積積込 の有無</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート 構造物取壊し</td> <td rowspan="2">A</td> <td rowspan="2"></td> <td>無筋構造物</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>注) 4, 5, 6</td> </tr> <tr> <td>鉄筋構造物</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>注) 4, 5, 6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">石 積 取 壊 し ( 人 力 )</td> <td rowspan="4">B</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="2">練積</td> <td>控え3.5cm以上 4.5cm未満</td> <td>—</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td>控え4.5cm未満</td> <td>—</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">空積</td> <td>控え4.5cm以上 6.0cm未満</td> <td>—</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td>控え6.0cm以上 9.0cm未満</td> <td>—</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート は つ り</td> <td rowspan="2">B</td> <td rowspan="2"></td> <td>コンクリート 構造物</td> <td>平均はつり厚さ 3cm以下</td> <td>—</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均はつり厚さ 3cmを超え6cm 以下</td> <td>—</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td>積込 (コンクリート殻)</td> <td>D</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td>吹 付 法 面 と り こ わ し</td> <td>B</td> <td></td> <td>モルタル</td> <td>厚さ5cm以上 1.5cm以下</td> <td>○</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 人力施工と機 械施工に区分 し数量を算出 する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p> <p>注) 1. 形状の範囲外の場合も区分して算出する。 2. C o 塊等を工事区間外へ搬出する場合は、運搬距離についても算出し、「第1編（共通編）10.5般運搬」により別途算出する。 3. 石積取壊し（人力）の施工数量は、石積取壊し前の面積とし、積込（コンクリート殻）の施工量は、取壊し構造物の破碎前の体積とする。</p>	項目	区分	BIM/CIM モデル	属 性 情 報				備 考	種 別	形 状	集積積込 の有無	単 位	コンクリート 構造物取壊し	A		無筋構造物	—	—	m <sup>3</sup>	注) 4, 5, 6	鉄筋構造物	—	—	m <sup>3</sup>	注) 4, 5, 6	石 積 取 壊 し ( 人 力 )	B		練積	控え3.5cm以上 4.5cm未満	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3	控え4.5cm未満	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3	空積	控え4.5cm以上 6.0cm未満	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3	控え6.0cm以上 9.0cm未満	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3	コンクリート は つ り	B		コンクリート 構造物	平均はつり厚さ 3cm以下	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3		平均はつり厚さ 3cmを超え6cm 以下	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3	積込 (コンクリート殻)	D	—	—	—	m <sup>3</sup>	( ) 注) 3	吹 付 法 面 と り こ わ し	B		モルタル	厚さ5cm以上 1.5cm以下	○	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 人力施工と機 械施工に区分 し数量を算出 する。	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>土木工事におけるコンクリート構造物等の取壊し工に適用する。 ただし、建築物および舗装版の取壊し工、<u>石積の取壊し工</u>、及びブロック施工による旧橋撤去には適用しない。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p><u>石積取壊し（人力）</u>とコンクリートはつりの区分は、種別、形状とする。 吹付法面とりこわしの区分は、種別、形状、集積積込の有無とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="4">属 性 情 報</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>種 別</th> <th>形 状</th> <th>集積積込 の有無</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">コンクリート 構造物取壊し</td> <td rowspan="2">A</td> <td rowspan="2"></td> <td>無筋構造物</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>注) 4, 5, 6</td> </tr> <tr> <td>鉄筋構造物</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>注) 4, 5, 6</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"><del>石 積 取 壊 し ( 人 力 )</del></td> <td rowspan="4"><del>B</del></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="2"><del>練積</del></td> <td><del>控え3.5cm以上 4.5cm未満</del></td> <td><del>—</del></td> <td><del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del></td> <td><del>( ) 注) 3</del></td> </tr> <tr> <td><del>控え4.5cm未満</del></td> <td><del>—</del></td> <td><del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del></td> <td><del>( ) 注) 3</del></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><del>空積</del></td> <td><del>控え4.5cm以上 6.0cm未満</del></td> <td><del>—</del></td> <td><del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del></td> <td><del>( ) 注) 3</del></td> </tr> <tr> <td><del>控え6.0cm以上 9.0cm未満</del></td> <td><del>—</del></td> <td><del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del></td> <td><del>( ) 注) 3</del></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート は つ り</td> <td rowspan="2">B</td> <td rowspan="2"></td> <td>コンクリート 構造物</td> <td>平均はつり厚さ 3cm以下</td> <td>—</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>平均はつり厚さ 3cmを超え6cm 以下</td> <td>—</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td>積込 (コンクリート殻)</td> <td>D</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td>( ) 注) 3</td> </tr> <tr> <td>吹 付 法 面 と り こ わ し</td> <td>B</td> <td></td> <td>モルタル</td> <td>厚さ5cm以上 1.5cm以下</td> <td>○</td> <td>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></td> <td>( ) 注) 3 人力施工と機 械施工に区分 し数量を算出 する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p> <p>注) 1. 形状の範囲外の場合も区分して算出する。 2. C o 塊等を工事区間外へ搬出する場合は、運搬距離についても算出し、「第1編（共通編）10.5般運搬」により別途算出する。 3. <u>石積取壊し（人力）の施工数量は、石積取壊し前の面積とし、積込（コンクリート殻）の施工量は、取壊し構造物の破碎前の体積とする。</u></p>	項目	区分	BIM/CIM モデル	属 性 情 報				備 考	種 別	形 状	集積積込 の有無	単 位	コンクリート 構造物取壊し	A		無筋構造物	—	—	m <sup>3</sup>	注) 4, 5, 6	鉄筋構造物	—	—	m <sup>3</sup>	注) 4, 5, 6	<del>石 積 取 壊 し ( 人 力 )</del>	<del>B</del>		<del>練積</del>	<del>控え3.5cm以上 4.5cm未満</del>	<del>—</del>	<del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del>	<del>( ) 注) 3</del>	<del>控え4.5cm未満</del>	<del>—</del>	<del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del>	<del>( ) 注) 3</del>	<del>空積</del>	<del>控え4.5cm以上 6.0cm未満</del>	<del>—</del>	<del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del>	<del>( ) 注) 3</del>	<del>控え6.0cm以上 9.0cm未満</del>	<del>—</del>	<del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del>	<del>( ) 注) 3</del>	コンクリート は つ り	B		コンクリート 構造物	平均はつり厚さ 3cm以下	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3		平均はつり厚さ 3cmを超え6cm 以下	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3	積込 (コンクリート殻)	D	—	—	—	m <sup>3</sup>	( ) 注) 3	吹 付 法 面 と り こ わ し	B		モルタル	厚さ5cm以上 1.5cm以下	○	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3 人力施工と機 械施工に区分 し数量を算出 する。	<p>積算基準の改定に伴う記載の削除</p> <p>積算基準の改定に伴う記載の削除</p> <p>積算基準の改定に伴う記載の削除</p> <p>積算基準の改定に伴う記載の削除</p>
項目	区分				BIM/CIM モデル	属 性 情 報				備 考																																																																																																																																													
		種 別	形 状	集積積込 の有無		単 位																																																																																																																																																	
コンクリート 構造物取壊し	A		無筋構造物	—	—	m <sup>3</sup>	注) 4, 5, 6																																																																																																																																																
			鉄筋構造物	—	—	m <sup>3</sup>	注) 4, 5, 6																																																																																																																																																
石 積 取 壊 し ( 人 力 )	B		練積	控え3.5cm以上 4.5cm未満	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																
				控え4.5cm未満	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																
			空積	控え4.5cm以上 6.0cm未満	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																
				控え6.0cm以上 9.0cm未満	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																
コンクリート は つ り	B		コンクリート 構造物	平均はつり厚さ 3cm以下	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																
				平均はつり厚さ 3cmを超え6cm 以下	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																
積込 (コンクリート殻)	D	—	—	—	m <sup>3</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																	
吹 付 法 面 と り こ わ し	B		モルタル	厚さ5cm以上 1.5cm以下	○	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 人力施工と機 械施工に区分 し数量を算出 する。																																																																																																																																																
項目	区分	BIM/CIM モデル	属 性 情 報				備 考																																																																																																																																																
			種 別	形 状	集積積込 の有無	単 位																																																																																																																																																	
コンクリート 構造物取壊し	A		無筋構造物	—	—	m <sup>3</sup>	注) 4, 5, 6																																																																																																																																																
			鉄筋構造物	—	—	m <sup>3</sup>	注) 4, 5, 6																																																																																																																																																
<del>石 積 取 壊 し ( 人 力 )</del>	<del>B</del>		<del>練積</del>	<del>控え3.5cm以上 4.5cm未満</del>	<del>—</del>	<del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del>	<del>( ) 注) 3</del>																																																																																																																																																
				<del>控え4.5cm未満</del>	<del>—</del>	<del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del>	<del>( ) 注) 3</del>																																																																																																																																																
			<del>空積</del>	<del>控え4.5cm以上 6.0cm未満</del>	<del>—</del>	<del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del>	<del>( ) 注) 3</del>																																																																																																																																																
				<del>控え6.0cm以上 9.0cm未満</del>	<del>—</del>	<del>(m<sup>3</sup>) m<sup>2</sup></del>	<del>( ) 注) 3</del>																																																																																																																																																
コンクリート は つ り	B		コンクリート 構造物	平均はつり厚さ 3cm以下	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																
				平均はつり厚さ 3cmを超え6cm 以下	—	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																
積込 (コンクリート殻)	D	—	—	—	m <sup>3</sup>	( ) 注) 3																																																																																																																																																	
吹 付 法 面 と り こ わ し	B		モルタル	厚さ5cm以上 1.5cm以下	○	(m <sup>3</sup> ) m <sup>2</sup>	( ) 注) 3 人力施工と機 械施工に区分 し数量を算出 する。																																																																																																																																																
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																																																																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																
	<p><b>10.4 コンクリート削孔工</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>コンクリート構造物の削孔（用心鉄筋（さし筋）、あと施工アンカー、防護柵類、排水穴等）作業に適用する。</p> <p>削孔機械における適用削孔径及び削孔深</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>削孔機械</th> <th>削孔径</th> <th>削孔深</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電動ハンマドリル</td> <td>10mm以上 30mm未満</td> <td>30mm以上 400mm以下</td> </tr> <tr> <td>さく岩機（ハンドドリル）</td> <td>30mm以上 60mm未満</td> <td>100mm以上1, 100mm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート穿孔機 （電動式コア ボーリングマシン）</td> <td>60mm以上 100mm未満</td> <td>50mm以上 1, 100mm以下</td> </tr> <tr> <td>100mm以上 200mm以下</td> <td>50mm以上 400mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>コンクリート削孔（電動ハンマドリル40mm）、コンクリート削孔（さく岩機）、コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）の数量を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p>区分は、削孔深さ、削孔径とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="4">属性情報</th> </tr> <tr> <th>削孔径</th> <th>削孔深さ</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート削孔 （電動ハンマドリル40mm）</td> <td></td> <td>B</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 （さく岩機）</td> <td></td> <td>B</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 （コンクリート穿孔機）</td> <td></td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p>	削孔機械	削孔径	削孔深	電動ハンマドリル	10mm以上 30mm未満	30mm以上 400mm以下	さく岩機（ハンドドリル）	30mm以上 60mm未満	100mm以上1, 100mm以下	コンクリート穿孔機 （電動式コア ボーリングマシン）	60mm以上 100mm未満	50mm以上 1, 100mm以下	100mm以上 200mm以下	50mm以上 400mm以下	項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報				削孔径	削孔深さ	単位	数量	備考	コンクリート削孔 （電動ハンマドリル40mm）		B	×	○	孔		コンクリート削孔 （さく岩機）		B	×	○	孔		コンクリート削孔 （コンクリート穿孔機）		B	○	○	孔		<p>現行どおり</p> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>コンクリート削孔（電動ハンマドリル<del>40mm</del>）、コンクリート削孔（さく岩機）、コンクリート削孔（コンクリート穿孔機）の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>現行どおり</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="4">属性情報</th> </tr> <tr> <th>削孔径</th> <th>削孔深さ</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリート削孔 （電動ハンマドリル<del>40mm</del>）</td> <td></td> <td>B</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 （さく岩機）</td> <td></td> <td>B</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート削孔 （コンクリート穿孔機）</td> <td></td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>孔</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p>	項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報				削孔径	削孔深さ	単位	数量	備考	コンクリート削孔 （電動ハンマドリル <del>40mm</del> ）		B	×	○	孔		コンクリート削孔 （さく岩機）		B	×	○	孔		コンクリート削孔 （コンクリート穿孔機）		B	○	○	孔		<p>記載の削除</p> <p>記載の削除</p>
削孔機械	削孔径	削孔深																																																																																	
電動ハンマドリル	10mm以上 30mm未満	30mm以上 400mm以下																																																																																	
さく岩機（ハンドドリル）	30mm以上 60mm未満	100mm以上1, 100mm以下																																																																																	
コンクリート穿孔機 （電動式コア ボーリングマシン）	60mm以上 100mm未満	50mm以上 1, 100mm以下																																																																																	
	100mm以上 200mm以下	50mm以上 400mm以下																																																																																	
項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報																																																																																
			削孔径	削孔深さ	単位	数量	備考																																																																												
コンクリート削孔 （電動ハンマドリル40mm）		B	×	○	孔																																																																														
コンクリート削孔 （さく岩機）		B	×	○	孔																																																																														
コンクリート削孔 （コンクリート穿孔機）		B	○	○	孔																																																																														
項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報																																																																																
			削孔径	削孔深さ	単位	数量	備考																																																																												
コンクリート削孔 （電動ハンマドリル <del>40mm</del> ）		B	×	○	孔																																																																														
コンクリート削孔 （さく岩機）		B	×	○	孔																																																																														
コンクリート削孔 （コンクリート穿孔機）		B	○	○	孔																																																																														
積算上の注意事項	1-10-7	1-10-6	(控え頁) 1/2																																																																																

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考																																																												
現	行	改	正																																																												
	<p>(2) 削孔径による区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>積算条件</th> <th>区分</th> <th>参考 (使用ビット径)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>削孔径</td> <td>60mm以上 64mm未満</td> <td>64.7mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>64mm以上 77mm未満</td> <td>77.4mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>77mm以上 90mm未満</td> <td>90.8mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>90mm以上 100mm未満</td> <td>110.0mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100mm以上 110mm未満</td> <td>110.0mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>110mm以上 128mm未満</td> <td>128.5mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>128mm以上 160mm未満</td> <td>160.0mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>160mm以上 180mm未満</td> <td>180.0mm</td> </tr> <tr> <td></td> <td>180mm以上 200mm以下</td> <td>204.0mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 削孔深さによる区分は、以下のとおりとする。</p> <p>①コンクリート削孔 (電動ハンマドリル40mm)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>削孔深さ</td> <td>30mm以上 200mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200mm以上 400mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>②コンクリート削孔 (さく岩機)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>削孔深さ</td> <td>100mm以上 200mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200mm以上 300mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>300mm以上 400mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>400mm以上 600mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>600mm以上 800mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>800mm以上 1,000mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,000mm以上 1,100mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>③コンクリート削孔 (コンクリート穿孔機)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>削孔深さ</td> <td>50mm以上 200mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>200mm以上 400mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(削孔径が100mm以上 200mm以下の場合、 削孔深さは200mm以上 400mm以下)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>400mm以上 600mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>600mm以上 800mm未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>800mm以上 1,100mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 数量算出方法 数量算出は、「第1編 (共通編) 1章基本事項」による。</p> <p style="text-align: center;">1-10-8</p>	積算条件	区分	参考 (使用ビット径)	削孔径	60mm以上 64mm未満	64.7mm		64mm以上 77mm未満	77.4mm		77mm以上 90mm未満	90.8mm		90mm以上 100mm未満	110.0mm		100mm以上 110mm未満	110.0mm		110mm以上 128mm未満	128.5mm		128mm以上 160mm未満	160.0mm		160mm以上 180mm未満	180.0mm		180mm以上 200mm以下	204.0mm	削孔深さ	30mm以上 200mm未満		200mm以上 400mm以下	削孔深さ	100mm以上 200mm未満		200mm以上 300mm未満		300mm以上 400mm未満		400mm以上 600mm未満		600mm以上 800mm未満		800mm以上 1,000mm未満		1,000mm以上 1,100mm以下	削孔深さ	50mm以上 200mm未満		200mm以上 400mm未満		(削孔径が100mm以上 200mm以下の場合、 削孔深さは200mm以上 400mm以下)		400mm以上 600mm未満		600mm以上 800mm未満		800mm以上 1,100mm以下	<p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p> <p style="text-align: center;">①コンクリート削孔 (電動ハンマドリル <del>40mm</del>)</p> <p style="text-align: center;">現 行 ど お り</p>	記載の削除
積算条件	区分	参考 (使用ビット径)																																																													
削孔径	60mm以上 64mm未満	64.7mm																																																													
	64mm以上 77mm未満	77.4mm																																																													
	77mm以上 90mm未満	90.8mm																																																													
	90mm以上 100mm未満	110.0mm																																																													
	100mm以上 110mm未満	110.0mm																																																													
	110mm以上 128mm未満	128.5mm																																																													
	128mm以上 160mm未満	160.0mm																																																													
	160mm以上 180mm未満	180.0mm																																																													
	180mm以上 200mm以下	204.0mm																																																													
削孔深さ	30mm以上 200mm未満																																																														
	200mm以上 400mm以下																																																														
削孔深さ	100mm以上 200mm未満																																																														
	200mm以上 300mm未満																																																														
	300mm以上 400mm未満																																																														
	400mm以上 600mm未満																																																														
	600mm以上 800mm未満																																																														
	800mm以上 1,000mm未満																																																														
	1,000mm以上 1,100mm以下																																																														
削孔深さ	50mm以上 200mm未満																																																														
	200mm以上 400mm未満																																																														
	(削孔径が100mm以上 200mm以下の場合、 削孔深さは200mm以上 400mm以下)																																																														
	400mm以上 600mm未満																																																														
	600mm以上 800mm未満																																																														
	800mm以上 1,100mm以下																																																														
積算上の注意事項		1-10-7	(控え頁) 2/2																																																												

改正理由	一部改正	改正 現行																							
現 行	改 正		備 考																						
<p><b>10.5 殻運搬</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>構造物撤去工、舗装版破碎及びモルタルの吹付法面のとりこわし作業における殻運搬に適用する。 ただし、路面切削作業で発生したアスファルト殻の場合、自動車専用道路を利用する場合、運搬距離が60kmを超える場合には適用しない。</p> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>運搬体積を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p>区分は、殻発生作業、積込工法区分、運搬距離とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="4">属 性 情 報</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>殻発生 作業</th> <th>積込工法 区分</th> <th>運搬距離</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>殻 運 搬</td> <td></td> <td>A</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする 注) 設計数量は、構造物をとりこわす前の体積とする。</p> <p>(2) 殻発生作業と積込工法区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コンクリート(無筋・鉄筋) 構造物とりこわし       <ul style="list-style-type: none"> <li>— 機械積込</li> <li>— 人力積込</li> </ul> </li> <li>②舗装版破碎       <ul style="list-style-type: none"> <li>— 人力積込</li> <li>— 機械積込 (騒音対策不要、舗装版厚15cm超)</li> <li>— 機械積込 (騒音対策必要)</li> <li>— 機械積込 (騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)</li> <li>— 機械積込 (小規模土工)</li> </ul> </li> <li>③吹付法面取壊し(モルタル) — 機械積込</li> </ul> <p><b>4. 数量算出方法</b></p> <p>数量の算出は、「第1編(共通編)1章基本事項」によるものとする。</p>	項目	区分	BIM/CIM モデル	属 性 情 報				単位	数量	備 考	殻発生 作業	積込工法 区分	運搬距離		殻 運 搬		A	○	○	○	m <sup>3</sup>			<p>現行どおり</p> <p>(2) 殻発生作業と積込工法区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①コンクリート(無筋・鉄筋) 構造物とりこわし       <ul style="list-style-type: none"> <li>— 機械積込</li> <li>— <del>人力積込</del></li> </ul> </li> <li>②舗装版破碎       <ul style="list-style-type: none"> <li>— <del>人力積込</del></li> <li>— 機械積込 (騒音対策不要、舗装版厚15cm超)</li> <li>— 機械積込 (騒音対策必要)</li> <li>— 機械積込 (騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)</li> <li>— 機械積込 (小規模土工)</li> </ul> </li> <li>③吹付法面取壊し(モルタル) — 機械積込</li> </ul> <p>現行どおり</p>	<p>積算基準の改定に伴う記載の削除</p>
項目				区分	BIM/CIM モデル	属 性 情 報					単位	数量	備 考												
	殻発生 作業	積込工法 区分	運搬距離																						
殻 運 搬		A	○	○	○	m <sup>3</sup>																			
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																						

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																											
	現 行	改 正																																												
	<p><b>11章 仮設工</b></p> <p><b>11.1 土留・仮締切工</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>土留（親杭横矢板工法、鋼矢板工法）、仮締切（一重締切、二重締切）、路面覆工等の仮設工に適用する。</p> <p><b>2. 矢板工</b></p> <p>(1) 数量算出項目</p> <p>矢板工の延長、枚数、質量を区分ごとに算出する。</p> <p>(2) 区分</p> <p>区分は、施工箇所、規格、矢板長とする。</p> <p>1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 項目</th> <th rowspan="2">3次元 モデル</th> <th colspan="5">属性情報</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>施工 箇所</th> <th>規 格</th> <th>矢板長 (H形鋼長)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延 長</td> <td>II</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>枚 数 (本 数)</td> <td>II</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td>枚 (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>II</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3次元モデルによる数量算出は、鋼構造を参考とする 注) ( ) 書きは、H形鋼に適用する。</p> <p>2) 施工箇所区分 施工箇所（ブロック）ごとに区分して算出する。</p> <p>3) 規格および矢板長（H形鋼長）区分 矢板（H形鋼）の材質、型式、1枚当り長さ（1本当り長さ）ごとに区分して算出する。 なお、親杭（中間杭）に使用するH形鋼は、杭用（生材）を標準とする。</p> <p>(3) 数量算出方法 数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。</p> <p>1) 枚数 施工枚数は、鋼矢板の中心線の長さを1枚当りの幅で除した値とし、小数以下の端数は切上げて整数にまどめるものとする。 なお、施工場所から矢板置場までの距離について、3.0m以内の場合と3.0mを超える場合毎に区分して算出する。</p> <p>2) 継手数 継矢板を施工する場合は、矢板（H形鋼）の規格毎に、1枚(本)当たり継手数(箇所)についても算出する。</p>	区分 項目	3次元 モデル	属性情報					単位	数量	備考	施工 箇所	規 格	矢板長 (H形鋼長)			延 長	II					m			枚 数 (本 数)	II	○	○	○		枚 (本)			質 量	II					t			現行どおり		
区分 項目	3次元 モデル			属性情報								単位	数量	備考																																
		施工 箇所	規 格	矢板長 (H形鋼長)																																										
延 長	II					m																																								
枚 数 (本 数)	II	○	○	○		枚 (本)																																								
質 量	II					t																																								
		<p>1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分 項目</th> <th rowspan="2">BIM/CI モデル</th> <th colspan="5">属性情報</th> <th rowspan="2">単位</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>規 格</th> <th>矢板長 (H形鋼長)</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延 長</td> <td>II</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>枚 数 (本 数)</td> <td>II</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td>枚 (本)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>質 量</td> <td>II</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>t</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIモデルによる数量算出は、鋼構造を参考とする 注) ( ) 書きは、H形鋼に適用する。</p>	区分 項目	BIM/CI モデル	属性情報					単位	数量	備考	施 工 箇 所	規 格	矢板長 (H形鋼長)			延 長	II					m			枚 数 (本 数)	II	○	○	○		枚 (本)			質 量	II					t			現行どおり	語句の変更
区分 項目	BIM/CI モデル	属性情報					単位	数量	備考																																					
		施 工 箇 所	規 格	矢板長 (H形鋼長)																																										
延 長	II					m																																								
枚 数 (本 数)	II	○	○	○		枚 (本)																																								
質 量	II					t																																								
積算上の注意事項	1-11-2		(控え頁) 1/1																																											

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																										
	<p>現 行</p> <p><b>1. 1. 2 消波根固めブロック工(ブロック撤去工)(0. 25t以上35. 5t以下)</b></p> <p>1. 適用 根固め工における根固めブロック撤去に適用する。</p> <p>2. 数量算出項目 消波根固めブロックの個数を区分ごとに算出する。</p> <p>3. 区分 区分は、ブロック質量、作業区分、堆砂の有無、クレーン機種とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="6">属 性 情 報</th> </tr> <tr> <th>ブロック 質量</th> <th>作業 区分</th> <th>堆砂 の有無</th> <th>クレーン 機種</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消波根固め ブロック撤去</td> <td></td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする 注) 1. ブロック質量は、ブロック実質量とする。</p> <p>(2) 作業区分 作業区分は、撤去・仮置き、撤去・据付け(乱積)、撤去・据付け(層積)、撤去・積込みに区分して算出する。</p> <p>2-1-5</p>	項目	区分	BIM/CIM モデル	属 性 情 報						ブロック 質量	作業 区分	堆砂 の有無	クレーン 機種	単位	数量	備考	消波根固め ブロック撤去		B	○	○	○	○	個			<p>改 正</p> <p>現 行</p> <p>1. 1. 2 消波根固めブロック工(ブロック撤去工)<del>(0. 25t以上35. 5t以下)</del></p> <p>現行どおり</p>	<p>備考</p> <p>積算基準の改定に伴う記載の変更</p>
項目	区分				BIM/CIM モデル	属 性 情 報																							
		ブロック 質量	作業 区分	堆砂 の有無		クレーン 機種	単位	数量	備考																				
消波根固め ブロック撤去		B	○	○	○	○	個																						
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																								
現	行	改	正																																																																																																								
<p><b>5章 砂防工</b></p> <p><b>5.1 土工</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>砂防工（本ダム、副ダム、床固、帯工、水叩、側壁、護岸）の土工に適用する。</p> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>掘削、土砂等運搬、積込（ルーズ）、盛土、床掘り、埋戻し、残土処理、法面整形の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>(1) 土砂等運搬は、片道の運搬距離を算出する。往路と復路が異なるときは、平均値とする。また、必要に応じて土量配分図を作成する。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p>区分は、土質、構造物、施工形態、施工幅とする。 土砂等運搬の区分は、運搬距離、土質とする。</p> <p>(1) 数量算出項目および区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="7">属性情報</th> <th rowspan="2">数量</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>運搬 距離</th> <th>土質</th> <th>構造物</th> <th>施工 形態</th> <th>施工幅</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土工</td> <td>掘削</td> <td>土構造</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土砂等運搬</td> <td>土構造</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>積込（ルーズ）</td> <td>土構造</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>盛土</td> <td>土構造</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">土工作業</td> <td>床掘り</td> <td>土構造</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>埋戻し</td> <td>土構造</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>残土処理</td> <td>土構造</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">整形法面</td> <td>掘削部</td> <td>土構造</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>盛土部</td> <td>土構造</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 土質区分 土質による区分は、「第1編（共通編）2章土工2.1土工」による。 なお、破砕を要する転石の場合は、粒径0.5m未満・以上で区分して算出する。</p> <p>(3) 構造物区分 構造物ごとに区分して算出する。</p> <p style="text-align: center;">2-5-2</p>		項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報							数量	備考	運搬 距離	土質	構造物	施工 形態	施工幅	単位	土工	掘削	土構造	×	○	×	○	×	m <sup>3</sup>			土砂等運搬	土構造	○	○	×	×	m <sup>3</sup>			積込（ルーズ）	土構造	×	○	×	×	m <sup>3</sup>			盛土	土構造	×	○	○	○	m <sup>3</sup>			土工作業	床掘り	土構造	×	○	○	×	m <sup>3</sup>			埋戻し	土構造	×	○	○	○	m <sup>3</sup>				残土処理	土構造	×	○	○	×	m <sup>3</sup>			整形法面	掘削部	土構造	×	○	○	×	m <sup>2</sup>			盛土部	土構造	×	○	○	×	m <sup>2</sup>			<p>現行どおり</p> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>掘削、<b>掘削(I.C.T)</b>、土砂等運搬、積込（ルーズ）、盛土、床掘り、埋戻し、残土処理、法面整形の数量を区分ごとに算出する。</p> <p>現行どおり</p>	<p>積算基準の改定に伴う記載の追加</p>
項目	区分				BIM/CIM モデル	属性情報								数量	備考																																																																																												
		運搬 距離	土質	構造物		施工 形態	施工幅	単位																																																																																																			
土工	掘削	土構造	×	○	×	○	×	m <sup>3</sup>																																																																																																			
	土砂等運搬	土構造	○	○	×	×	m <sup>3</sup>																																																																																																				
	積込（ルーズ）	土構造	×	○	×	×	m <sup>3</sup>																																																																																																				
	盛土	土構造	×	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																				
土工作業	床掘り	土構造	×	○	○	×	m <sup>3</sup>																																																																																																				
	埋戻し	土構造	×	○	○	○	m <sup>3</sup>																																																																																																				
	残土処理	土構造	×	○	○	×	m <sup>3</sup>																																																																																																				
整形法面	掘削部	土構造	×	○	○	×	m <sup>2</sup>																																																																																																				
	盛土部	土構造	×	○	○	×	m <sup>2</sup>																																																																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																								

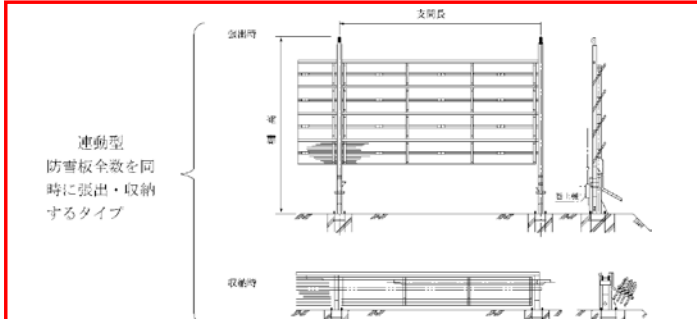
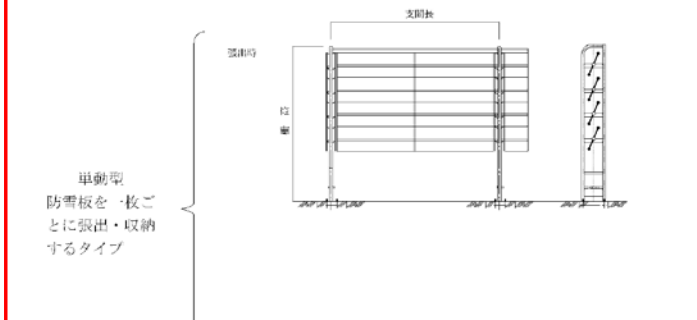
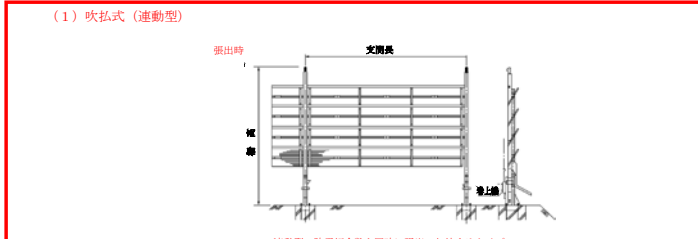
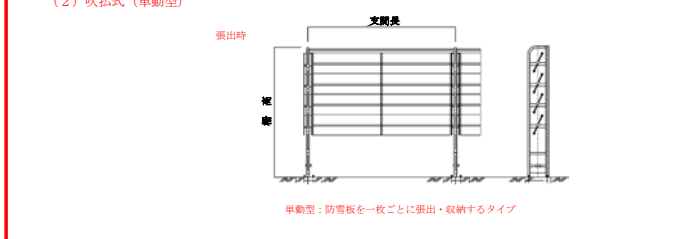
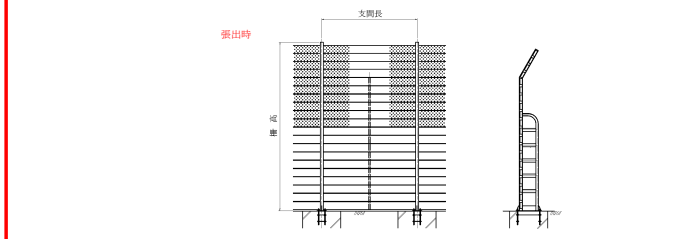


改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																					
現 行	改 正		備 考																																																					
	<p><b>5.6 砂防ソイルセメント工</b></p> <p><b>1. 適用</b> 砂防工(本堰堤、副堰堤、床固め、帯工、水叩き、側壁、護岸)の基礎及び中詰において施工位置周辺ヤードにて現地発生土とセメントをバックホウにて攪拌混合し、運搬、敷均し、締固めを行い、構造物を構築する砂防ソイルセメント工の施工に適用する。</p> <p><b>2. 数量算出項目</b> 粒径処理、攪拌混合、混合材料敷均し・締固めの数量を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b> 区分は、粒径処理率(%)、セメント100m<sup>3</sup>当り使用量(t/100m<sup>3</sup>)とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="4">属性情報</th> </tr> <tr> <th>粒径処理率 (%)</th> <th>セメント100m<sup>3</sup>当り 使用量(t/100m<sup>3</sup>)</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粒径処理</td> <td>A</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>攪拌混合</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>混合材料敷均し・締固め</td> <td>A</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする 注) 1. 粒径処理の土量は、粒径処理後の土量(ほぐし土量)である。 2. 攪拌混合の土量は、締固め状態における土量である。 3. 混合材料敷均し・締固めの土量は、締固め状態における土量である。</p> <p>(2) 粒径処理率による区分は、以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>粒径処理率 (%)</td> <td>40を超え45以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>45を超え50以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50を超え60以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60を超え80以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td>80を超え100以下</td> </tr> </table> <p><b>関連数量算出項目</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>BIM/CIM モデル</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂防ソイルセメント(粒径処理土積込・運搬)</td> <td>A</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p>	項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報				粒径処理率 (%)	セメント100m <sup>3</sup> 当り 使用量(t/100m <sup>3</sup> )	単位	数量	備考	粒径処理	A	○	×	m <sup>3</sup>			攪拌混合	A	×	○	m <sup>3</sup>			混合材料敷均し・締固め	A	×	×	m <sup>3</sup>			粒径処理率 (%)	40を超え45以下		45を超え50以下		50を超え60以下		60を超え80以下		80を超え100以下	項目	BIM/CIM モデル	単位	数量	備考	砂防ソイルセメント(粒径処理土積込・運搬)	A	m <sup>3</sup>		必要な場合別途計上	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>次頁へ移動</p>	<p>積算基準の改定に伴う記載の追加</p> <p>積算基準の改定に伴う記載の追加</p>
項目	区分				BIM/CIM モデル	属性情報																																																		
		粒径処理率 (%)	セメント100m <sup>3</sup> 当り 使用量(t/100m <sup>3</sup> )	単位		数量	備考																																																	
粒径処理	A	○	×	m <sup>3</sup>																																																				
攪拌混合	A	×	○	m <sup>3</sup>																																																				
混合材料敷均し・締固め	A	×	×	m <sup>3</sup>																																																				
粒径処理率 (%)	40を超え45以下																																																							
	45を超え50以下																																																							
	50を超え60以下																																																							
	60を超え80以下																																																							
	80を超え100以下																																																							
項目	BIM/CIM モデル	単位	数量	備考																																																				
砂防ソイルセメント(粒径処理土積込・運搬)	A	m <sup>3</sup>		必要な場合別途計上																																																				
積算上の注意事項			(控え頁) 1/2																																																					

改正理由	一部改正	改正 現 行											
現 行	改 正		備 考										
<div data-bbox="235 391 967 418" style="border: 1px solid red; margin-bottom: 10px;"></div> <p>4. 数量算出方法 数量算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。</p> <div data-bbox="235 491 967 555" style="border: 1px solid red; margin-bottom: 10px;"> <p>(1) 粒径処理率は次式による。  <math display="block">\text{粒径処理率}(\%) = (\text{粒径処理後土量}) / (\text{粒径処理前土量})</math> </p> </div> <p style="text-align: right;">前頁から移動</p>	<p>(3) <u>施工幅員による区分は、以下のとおりとする。</u></p> <p><u>施工幅員 (m)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4. 5 m未満</li> <li>4. 5 m以上</li> </ul> <div data-bbox="1124 497 1890 641" style="border: 1px solid red; margin: 10px 0;"> <p>関連数量算出項目</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>BIM/CIM モデル</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砂防ソイルセメント(粒径処理土積込・運搬)</td> <td>A</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td>必要な場合別途計上</td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p> </div> <p>4. 数量算出方法 数量算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。</p> <p>(1) 粒径処理率は次式による。  <math display="block">\text{粒径処理率}(\%) = [(\text{粒径処理後土量}) / (\text{粒径処理前土量})] \times 100</math> </p>		項目	BIM/CIM モデル	単位	数量	備考	砂防ソイルセメント(粒径処理土積込・運搬)	A	m <sup>3</sup>		必要な場合別途計上	<p>積算基準の改定に伴う記載の追加</p> <p>語句の追加</p>
項目	BIM/CIM モデル	単位	数量	備考									
砂防ソイルセメント(粒径処理土積込・運搬)	A	m <sup>3</sup>		必要な場合別途計上									
積算上の注意事項	2-5-10		<p>(控え頁)</p> <p style="text-align: center;">2/2</p>										

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																				
現	行	改 正	備 考																				
<p><b>2.2.3 車止めポスト設置工</b></p> <p><b>1. 適用</b> 車止めポストの設置工に適用する。</p> <p><b>2. 数量算出項目</b> 車止めポストの本数を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b> 区分は、規格、作業区分とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項 目</th> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="4">属 性 情 報</th> <th rowspan="2">備 考</th> </tr> <tr> <th>規 格</th> <th>作業区分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車 止 め ポ ス ト</td> <td></td> <td>B</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>本</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする 注) 基礎ブロックの設置は、含まない。</p> <p><b>4. 数量算出方法</b> 数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるものとする。</p>		項 目	区 分	BIM/CIM モデル	属 性 情 報				備 考	規 格	作業区分	単 位	数 量	車 止 め ポ ス ト		B	○	○	本			<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>積算基準の改定に伴う記載の削除</p>
項 目	区 分				BIM/CIM モデル	属 性 情 報				備 考													
		規 格	作業区分	単 位		数 量																	
車 止 め ポ ス ト		B	○	○	本																		
3-2-13																							
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																				

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																								
	現 行	改 正	備 考																																								
	<p><b>2.2.6 防雪柵現地張出し・収納工</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>現地収納式防雪柵の現地張出し及び現地収納に適用する。</p> <p>適用できる範囲 ・下表に示す種類、収納方式、柵高、支間長の場合</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <caption>防雪柵の種類及び高さ・支間長</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>収納方式</th> <th>柵高</th> <th>支間長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹払式 又は 吹止式</td> <td>支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)</td> <td>4.3 m以下</td> <td>4.0 m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>防雪柵現地張出し・収納の延長を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p>区分は、柵高 (m)、支間長 (m) 及び作業内容とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="5">属性情報</th> </tr> <tr> <th>柵高 (m)</th> <th>支間長 (m)</th> <th>作業区分</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防雪柵 現地張出し・収納</td> <td></td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p> <p>(2) 防雪柵現地張出し・収納の作業区分</p> <p>作業区分 — 張出し                   └─ 収納</p> <p><b>4. 数量算出方法</b></p> <p>数量算出は、「第1編 (共通編) 1章基本事項」によるほか、下記の方法によるものとする。</p> <p>(1) 柵高は、張出し状態における支柱固定端から支柱・防雪板を問わず最上端となるまでの高さとする。</p> <p>(2) 支間長は、支柱の中心間長さとする。</p>	種類	収納方式	柵高	支間長	吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 m以下	4.0 m以下	項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報					柵高 (m)	支間長 (m)	作業区分	単位	数量	備考	防雪柵 現地張出し・収納		B	○	○	○	m			<p style="text-align: center;">防雪柵の種類及び高さ・支間長</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>収納方式</th> <th>柵高</th> <th>支間長</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吹払式 又は 吹止式</td> <td>支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)</td> <td><del>4.3</del> 5.5 m以下</td> <td>4.0 m以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 柵高 作業区分 — 4.3m以下 (吹払式・吹止式)                   └─ 4.3mを超え5.5m以下 (吹止式)</p> <p><del>(2.3)</del> 防雪柵現地張出し・収納の作業区分 作業区分 — 張出し                   └─ 収納</p>	種類	収納方式	柵高	支間長	吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	<del>4.3</del> 5.5 m以下	4.0 m以下	<p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p> <p>現行どおり</p>	<p>積算基準の改定に伴う記載の変更</p> <p>積算基準の改定に伴う記載の追加</p> <p>語句の修正</p>
種類	収納方式	柵高	支間長																																								
吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	4.3 m以下	4.0 m以下																																								
項目	区分	BIM/CIM モデル	属性情報																																								
			柵高 (m)	支間長 (m)	作業区分	単位	数量	備考																																			
防雪柵 現地張出し・収納		B	○	○	○	m																																					
種類	収納方式	柵高	支間長																																								
吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	<del>4.3</del> 5.5 m以下	4.0 m以下																																								
積算上の注意事項	3-2-20		(控え頁) 1/2																																								

改正理由	一部改正	改正 現行	備考
	<p style="text-align: center;">現 行</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 10px;"> <p><b>5. 参考図</b></p> <p>連動型 防雪板全数を同時に張出・収納するタイプ</p>  <p>単動型 防雪板を一枚ごとに張出・収納するタイプ</p>  </div> <p style="text-align: center;">3-2-21</p>	<p style="text-align: center;">改 正</p> <p style="text-align: center;">現行どおり</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 10px;"> <p>(1) 吹払式 (連動型)</p>  <p>(2) 吹払式 (単動型)</p>  <p>(3) 吹止式 (連動型・単動型)</p>  </div>	<p style="text-align: center;">備 考</p> <p style="text-align: center;">積算基準の改定に伴う記載の変更</p>
積算上の注意事項			(控え頁) 2/2

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																		
	現 行	改 正	備 考																																																		
	<p><b>10.4.6 ハンドホール設置</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>情報ボックス工事のハンドホール、蓋等の設置に適用する。 ・ハンドホール設置：ハンドホール設置（支持金具、蓋、固定板の設置を含む）の場合</p> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>ハンドホール、ハンドホール蓋（材料費）、ハンドホール固定板（材料費）、支持金具（材料費）の数量を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p>区分は、規格・仕様、クレーン機種とする。</p> <p>(1) 数量算出項目及び区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">BIM/CIM モデル</th> <th colspan="5">属 性 情 報</th> </tr> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>クレーン機種</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハンドホール</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンドホール蓋（材料費）</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>枚</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ハンドホール固定板（材料費）</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>枚</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>支持金具（材料費）</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>個</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p> <p>(2) クレーン機種による区分</p> <table border="1"> <tr> <td>クレーン機種</td> <td>トラック（クレーン装置付）4 t積・2.9 t吊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ラフテレーンクレーン 4.9 t吊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ラフテレーンクレーン 16 t吊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ラフテレーンクレーン 20 t吊</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ラフテレーンクレーン 25 t吊</td> </tr> </table> <p><b>10.4.7 仮設工</b></p> <p>仮設工の数量は、「第1編（共通編）11章仮設工」により算出する。なお、軽量鋼矢板による土留、路面覆工等による仮設工の数量は、「第3編（道路編）10章共同溝10.3電線共同溝（C、C、BOX）工」により算出する。</p>	区 分	BIM/CIM モデル	属 性 情 報					規格・仕様	クレーン機種	単位	数量	備考	ハンドホール	B	○	○	個			ハンドホール蓋（材料費）	B	○	×	枚			ハンドホール固定板（材料費）	B	○	×	枚			支持金具（材料費）	B	○	×	個			クレーン機種	トラック（クレーン装置付）4 t積・2.9 t吊		ラフテレーンクレーン 4.9 t吊		ラフテレーンクレーン 16 t吊		ラフテレーンクレーン 20 t吊		ラフテレーンクレーン 25 t吊	<p>現行どおり</p> <p>→</p> <p>現行どおり</p>	<p>積算基準の改定に伴う記載の変更</p>
区 分	BIM/CIM モデル			属 性 情 報																																																	
		規格・仕様	クレーン機種	単位	数量	備考																																															
ハンドホール	B	○	○	個																																																	
ハンドホール蓋（材料費）	B	○	×	枚																																																	
ハンドホール固定板（材料費）	B	○	×	枚																																																	
支持金具（材料費）	B	○	×	個																																																	
クレーン機種	トラック（クレーン装置付）4 t積・2.9 t吊																																																				
	ラフテレーンクレーン 4.9 t吊																																																				
	ラフテレーンクレーン 16 t吊																																																				
	ラフテレーンクレーン 20 t吊																																																				
	ラフテレーンクレーン 25 t吊																																																				
積算上の注意事項	3-10-23		(控え頁) 1/1																																																		

改正理由	一部改正	改正 現行	備考																																																																																																																																																
	<p><b>1章 公園植栽工</b></p> <p><b>1.1 公園植栽工</b></p> <p><b>1. 適用</b></p> <p>公園の植栽作業及び移植作業に適用する。</p> <p><b>2. 数量算出項目</b></p> <p>植栽（植樹）、支柱、移植、地被類植付、張芝を区分ごとに算出する。</p> <p><b>3. 区分</b></p> <p>区分は、樹木の種類、支柱の種類、施工場所とする。</p> <p>(1) 数量算出項目区分一覧表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">3次元モデル</th> <th colspan="5">属性情報</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>樹木種類</th> <th>支柱種類</th> <th>施工場所</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽（植樹）</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱</td> <td>B</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本・m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>移植</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地被類植付</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉢</td> <td></td> </tr> <tr> <td>張芝</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p> <p>(2) 樹木の種類区分</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">植栽 (植樹) 移植</td> <td rowspan="2">低木</td> <td>樹高 60cm未満</td> </tr> <tr> <td>樹高 60cm以上100cm未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中木</td> <td>樹高100cm以上200cm未満</td> </tr> <tr> <td>樹高200cm以上300cm未満</td> </tr> <tr> <td>幹周 15cm未満</td> </tr> <tr> <td>幹周 15cm以上 25cm未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高木</td> <td>幹周 25cm以上 40cm未満</td> </tr> <tr> <td>幹周 40cm以上 60cm未満</td> </tr> <tr> <td>幹周 60cm以上 90cm未満</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>地被類植付</td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>張芝</td> <td>各種</td> </tr> </table> <p>(注) 1. 低木には、株物、一本立ちを含む。  2. 高木とは樹高3m以上とする。また、幹周とは地際よりの高さ1.2mでの幹の周囲長とし幹が枝分かれ（株立樹木）している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。  3. 土壌改良材を使用する場合は、植栽（植樹）1本当たり土壌改良材使用量を算出すること。  4. 移植の場合は、根巻・幹巻の有無を区分する。また、運搬を伴う場合は、運搬距離(km)を算出する。  5. 植栽（植樹）及び移植に伴い、客土、埋戻土が別途必要な場合は、その数量を算出する。また、残土の搬出が必要な場合は残土量を算出する。</p> <p>4-1-2</p>	項目	区分	3次元モデル	属性情報					備考	樹木種類	支柱種類	施工場所	単位	数量	植栽（植樹）	B	○	×	○	○	本		支柱	B	×	○	○	○	本・m		移植	B	○	×	○	○	本		地被類植付	B	○	×	○	○	鉢		張芝	B	○	×	×	×	m <sup>2</sup>		植栽 (植樹) 移植	低木	樹高 60cm未満	樹高 60cm以上100cm未満	中木	樹高100cm以上200cm未満	樹高200cm以上300cm未満	幹周 15cm未満	幹周 15cm以上 25cm未満	高木	幹周 25cm以上 40cm未満	幹周 40cm以上 60cm未満	幹周 60cm以上 90cm未満	各種	地被類植付	各種	張芝	各種	<p>現行どおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">BIM/CIMモデル</th> <th colspan="5">属性情報</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>樹木種類</th> <th>支柱種類</th> <th>施工場所</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植栽（植樹）</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>支柱</td> <td>B</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本・m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>移植</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地被類植付</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>鉢</td> <td></td> </tr> <tr> <td>張芝</td> <td>B</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>BIM/CIMモデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする</p> <p>(2) 樹木の種類区分</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="10">植栽 (植樹) 移植</td> <td rowspan="2">低木</td> <td>樹高 50cm未満</td> </tr> <tr> <td>樹高 50cm以上100cm未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">中木</td> <td>樹高100cm以上200cm未満</td> </tr> <tr> <td>樹高200cm以上300cm未満</td> </tr> <tr> <td>幹周 15cm未満</td> </tr> <tr> <td>幹周 15cm以上 25cm未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">高木</td> <td>幹周 25cm以上 40cm未満</td> </tr> <tr> <td>幹周 40cm以上 60cm未満</td> </tr> <tr> <td>幹周 60cm以上 90cm未満</td> </tr> <tr> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>地被類植付</td> <td>各種</td> </tr> <tr> <td>張芝</td> <td>各種</td> </tr> </table> <p>現行どおり</p>	項目	区分	BIM/CIMモデル	属性情報					備考	樹木種類	支柱種類	施工場所	単位	数量	植栽（植樹）	B	○	×	○	○	本		支柱	B	×	○	○	○	本・m		移植	B	○	×	○	○	本		地被類植付	B	○	×	○	○	鉢		張芝	B	○	×	×	×	m <sup>2</sup>		植栽 (植樹) 移植	低木	樹高 50cm未満	樹高 50cm以上100cm未満	中木	樹高100cm以上200cm未満	樹高200cm以上300cm未満	幹周 15cm未満	幹周 15cm以上 25cm未満	高木	幹周 25cm以上 40cm未満	幹周 40cm以上 60cm未満	幹周 60cm以上 90cm未満	各種	地被類植付	各種	張芝	各種	<p>記載の変更</p> <p>記載の変更</p>
項目	区分				3次元モデル	属性情報					備考																																																																																																																																								
		樹木種類	支柱種類	施工場所		単位	数量																																																																																																																																												
植栽（植樹）	B	○	×	○	○	本																																																																																																																																													
支柱	B	×	○	○	○	本・m																																																																																																																																													
移植	B	○	×	○	○	本																																																																																																																																													
地被類植付	B	○	×	○	○	鉢																																																																																																																																													
張芝	B	○	×	×	×	m <sup>2</sup>																																																																																																																																													
植栽 (植樹) 移植	低木	樹高 60cm未満																																																																																																																																																	
		樹高 60cm以上100cm未満																																																																																																																																																	
	中木	樹高100cm以上200cm未満																																																																																																																																																	
		樹高200cm以上300cm未満																																																																																																																																																	
		幹周 15cm未満																																																																																																																																																	
		幹周 15cm以上 25cm未満																																																																																																																																																	
	高木	幹周 25cm以上 40cm未満																																																																																																																																																	
		幹周 40cm以上 60cm未満																																																																																																																																																	
		幹周 60cm以上 90cm未満																																																																																																																																																	
		各種																																																																																																																																																	
地被類植付	各種																																																																																																																																																		
張芝	各種																																																																																																																																																		
項目	区分	BIM/CIMモデル	属性情報					備考																																																																																																																																											
			樹木種類	支柱種類	施工場所	単位	数量																																																																																																																																												
植栽（植樹）	B	○	×	○	○	本																																																																																																																																													
支柱	B	×	○	○	○	本・m																																																																																																																																													
移植	B	○	×	○	○	本																																																																																																																																													
地被類植付	B	○	×	○	○	鉢																																																																																																																																													
張芝	B	○	×	×	×	m <sup>2</sup>																																																																																																																																													
植栽 (植樹) 移植	低木	樹高 50cm未満																																																																																																																																																	
		樹高 50cm以上100cm未満																																																																																																																																																	
	中木	樹高100cm以上200cm未満																																																																																																																																																	
		樹高200cm以上300cm未満																																																																																																																																																	
		幹周 15cm未満																																																																																																																																																	
		幹周 15cm以上 25cm未満																																																																																																																																																	
	高木	幹周 25cm以上 40cm未満																																																																																																																																																	
		幹周 40cm以上 60cm未満																																																																																																																																																	
		幹周 60cm以上 90cm未満																																																																																																																																																	
		各種																																																																																																																																																	
地被類植付	各種																																																																																																																																																		
張芝	各種																																																																																																																																																		
積算上の注意事項			(控え頁) 1/1																																																																																																																																																